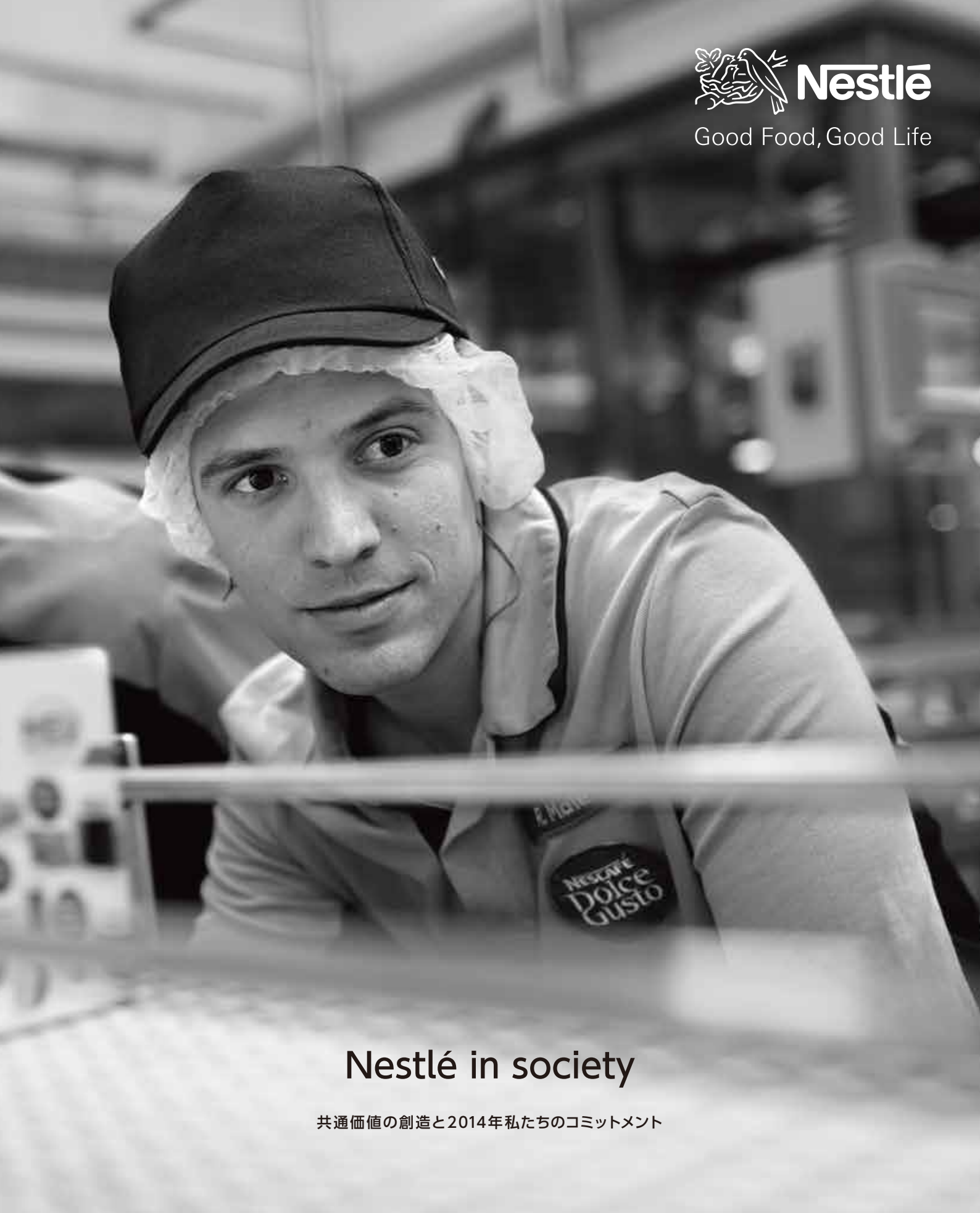


Nestlé in society

共通価値の創造と2014年私たちのコミットメント

目 次

2 会長・CEOからのメッセージ
4 ネスレにおける共通価値の創造
6 ネスレのコミットメント概要

8 **栄養**
消費者のクオリティ オブ ライフの向上につながるネスレの栄養に関する取り組みをご紹介します。

18 **農業・地域開発**
農家および農業コミュニティでの取り組みをご紹介します。

22 **水資源**
ネスレのウォーター・スチュワードシップへの新たなコミットメントと達成すべき目標をご紹介します。

26 **環境サステナビリティ**
バリューチェーン全体で、環境により配慮した製品を作ることを目指しています。

30 **人材、人権とコンプライアンス**
カカオとヘーゼルナッツのサプライチェーンの行動計画の実行に着手、人権への影響評価を継続します。

36 ステークホルダーとのかかわり
38 重要課題
40 コミットメント一覧表

関連報告書

2014年 アニュアルレポート

コーポレートガバナンスレポート 2014
コンペンセーションレポート 2014
フィナンシャルステートメント 2014

前表紙

スペイン出身のラモン・マレ・カルコは、ドイツのシュヴェリーンにある「ネスカフェ ドルチェ グスト」工場でボトリングラインの技術リーダーを務めています。
彼は、2016年までにヨーロッパ全土で1万人の若者を雇用することを目指すNestlé needs YOUthプログラムを通じて採用された一人です。さらに1万人の30歳未満の研修者と実習生を採用するこの取り組みは、私たちの事業を発展、成長させるために必要となる優秀な若者を勧誘することが目的です。

2014年の主な成果

98%

2014年末には、子ども向け製品の98%が「ネスレ栄養基盤」のすべての基準[1]を満たしました。

73カ国

2014年、73カ国、760万人の子どもたちが「ヘルシーキッズ　グローバルプログラム」に参加しました。

トップ 3

私たちは最新の「栄養へのアクセス指標」で、世界トップ3の食品飲料メーカーにランクインしました。

73%

ネスレの主要サプライヤー1万社のうち8,700社に監査を実施したところ、その73%が「ネスレ サプライヤー規約」を完全に順守していました。

FTSE4Good（フィッチフォーグッド）

ネスレは、人権や労働者権利、母乳代替品の責任あるマーケティングなどの実績に基づいて、FTSE4Good（フィッチフォーグッド）責任投資株価指数に登録されている唯一の調整粉乳メーカーです。

業界首位

国際慈善団体オックスファムが作成した2014年の「ビハインド・ザ・ブランド」の採点表で、ナンバーワン企業となりました。調査では、食品飲料メーカー10社の食料安全保障を改善する取り組みについて採点されました。

38%

原材料の主要カテゴリーの38%が、一次調達先まで追跡可能です。

52%

2005年と比較して、製品1トンあたりの排水量を52%削減しました。

72カ所

2014年に72工場で廃棄物量ゼロを達成しました。

12,458

2014年に12,458の農家が児童労働問題に配慮しました。

11,832人

2014年、Nestlé needs YOUthプログラムにより、ヨーロッパの若者11,832人が雇用もしくは実習機会を得ることができました。

26%

2005年と比較して、製品1トンあたりのエネルギー消費量を26%削減しました。

1　「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機構（WHO）、アメリカ医学研究所、その他の世界的もしくは特定の国の公的機関が発行する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいています。ネスレ製品は、ネスレ栄養プロファイリングシステムを使用して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性を調べ、上記の基準に照らして評価します。

2014年パフォーマンス概要

ネスレのパフォーマンス指標は、共通価値の創造、サステナビリティおよびコンプライアンスの評価と報告にフォーカスを当てています。このパフォーマンス概要は、国連グローバル・コンパクトの原則に基づいた進捗状況に関する報告書の一部です。
特に注記のない限り、パフォーマンス指標は2014年12月31日を最終日とした2014年のものです。グローバル・レポーティング・イニシアチブ (GRI) コラムの参考文献は、GRIの G4ガイドラインの当該の指標に対応しています。

ネスレは、私たちが対応すべき重要課題に沿って、GRIのG4ガイドラインと指標に対して報告します。これらの課題は、ステークホルダーとのかかわりのなかで特定されたものであり、私たちが行ってきた社会的取り組みを表すものです。ステークホルダーに対する透明性を高めるため、GRI指標、KPI、および私たちの取り組みとの相関関係を下記の表に示しています。

www.nestle.com/csv/2014/kpis を参照してください。

社会とネスレ、共通価値の創造に関する主要パフォーマンス指標	GRI	2013	2014	ページ
経営指標				
グループ総売上高(百万スイスフラン)[a]	G4-EC1	92158	91612	5
純利益(百万スイスフラン)[b]	G4-EC1	10015	14456	該当なし
栄養				
「ネスレ栄養基盤」の基準以上の製品(総売上に占める割合%)[c]	G4-EC1	76.0	78.5	10,11,12
栄養または健康面に配慮して改良された製品数[d]	G4-FP7	7789	10812	10,11,12
栄養価値の高い原材料または必須栄養素を強化した製品数[d]	G4-FP7	4778	6359	10
ナトリウム、糖類、トランス脂肪、総脂質、カロリーまたは合成着色料を削減した製品数[d]	G4-FP6	4221	6973	11,12
製品試験プログラム「60/40+(シックスティ・フォーティー・プラス)」で分析、改善または確認された製品(売上高、百万スイスフラン)[e]	G4-PR1	33001	33233	10,11,12
「ブランディド・アクティブ・ベネフィット(BAB、ネスレが認めた健康価値ブランド)」を取り入れた製品(売上高、百万スイスフラン)	G4-FP7	6836	6687	10
「ネスレ ニュートリショナルコンパス(栄養情報・製品情報)」の表示製品(世界総売上に占める割合%)[f]	G4-PR3	92.5	92.8	13
パッケージ前面に1日のカロリーガイド表示(GDA)をした製品(売上に占める割合%)[g]	G4-PR3	99.3	79.7	13
ポーションガイダンス(1食分を知らせるさまざまな工夫)を施した製品(売上高、100万スイスフラン)[h]	G4-PR3	26700	26456	14
手の届く価格帯の製品の品目数[i]	G4-EC1	9562	5014	10
手の届く価格帯の製品(売上、百万スイスフラン)	G4-EC1	11803	12205	10
責任あるマーケティング方針に準拠した12歳未満の子ども向けネスレテレビ広告の割合(%)[j]	G4-PR7	98.3	99.9	16
WHOの母乳代替品のマーケティングに関する国際基準の履行を目指したネスレの方針と指示への違反[k]	G4-PR7	27	29	17
高リスク国にいる、WHO基準に準拠した教育を受けた乳児用調製粉乳マーケティングスタッフ(全スタッフに占める割合%)[l]	G4-PR6	100	100	17
農業・地域開発				
能力開発プログラムによる研修を受けた農業従事者数		300000	376000	18,20,21
「ネスレ持続可能な農業イニシアチブ(SAIN)」プログラムの対象市場数		48	51	23,24
SAINプログラムによって直接調達が実施されているマーケットの割合(%)		100	100	23,24
「ネスレ サプライヤー規約」を完全に順守しているサプライヤーの割合	G4-FP1	74.0	73.0	19
「ネスレ サプライヤー規約」を完全に順守して調達された取引高の割合	G4-FP1	92.0	95.0	19
水資源[m]				
総取水量(百万m^3)	G4-EN8	152	147	22
総取水量(製品1トンあたりm^3)	G4-EN8	2.92	2.74	22
環境サステナビリティ[m]				
生産量				
総生産量(百万トン)		52.1	53.7	該当なし
原料				
原料使用量(百万トン)[n]	G4-EN1	25.1	25.8	該当なし
包装に使用する原料(百万トン)[n]	G4-EN1	5.7	5.6	26
包装原料の削減量(達成削減量千トン)		66.6	45.8	26
エネルギー				
総エネルギー消費量(ペタジュール)		97.7	95.8	26

社会とネスレ、共通価値の創造に関する主要パフォーマンス指標	GRI	2013	2014	ページ
総エネルギー消費量(製品1トンあたりのギガジュール)		1.87	1.78	26
再生可能エネルギー使用割合(総量に占める割合%)	G4-EN3	13.3	14.7	該当なし
直接エネルギー総消費量(ペタジュール)	G4-EN3	67.1	65.5	26
再生可能直接エネルギー使用割合(総量に占める割合%)	G4-EN3	10.8	11.3	該当なし
間接エネルギー総消費量(ペタジュール)	G4-EN4	81.5	81.1	26
生物多様性				
自然保護地域にある製造施設の合計規模(ヘクタール)[o]	G4-EN11	32.9	18.8	28
排出、排水、廃棄				
温室効果ガス直接排出量(百万トンCO_2eq)	G4-EN15	3.99	3.81	28
温室効果ガス直接排出量(製品1トンあたりkg CO_2eq)	G4-EN15	76.0	71.0	28
温室効果ガス間接排出量(百万トンCO_2eq)	G4-EN16	3.81	3.80	28
温室効果ガス間接排出量(製品1トンあたりkg CO_2eq)	G4-EN16	73.0	71.0	28
総排水量(百万m^3)	G4-EN22	91.0	87.0	24
総排水量(製品1トンあたりm^3)	G4-EN22	1.74	1.63	24
排水の水質平均(COD値 mg/L)	G4-EN22	76.0	72.0	24
副産物量(製品1トンあたりkg)	G4-EN23	29.1	28.9	26
廃棄物量(製品1トンあたりkg)	G4-EN23	4.9	4.0	26
環境サステナビリティの管理				
ISO 14001認定の製造施設(製造施設全体に占める割合%)		91.0	92.0	該当なし
人権とコンプライアンス				
重大な製品リコールまたはコンプライアンス違反の総数	G4-PR2	10	12	該当なし
人権影響評価の完了件数	G4-HR9	1	1	30
人権について教育を受けた従業員数		13 793	7 485	30
私たちの人材				
社員数[a]		333 214	339 456	5
会社全体での新規採用者率(%)[p]	G4-LA1	10.7	10.3	該当なし
会社全体での離職率(%)[p]	G4-LA1	11.1	11.7	該当なし
「ビジネスインテグリティ」(事業活動の統治)と人事関連で確認されたコンプライアンス違反件数[q]		146	32	32
内訳：軽度		130	32	32
中度		16	0	32
重度		0	0	32
休業を伴う負傷と疾患率(百万労働時間あたり)(社員、請負契約者、その他)[m]	G4-LA6	2.34	2.35	33
報告対象になる総負傷と疾病率(百万労働時間あたり)(社員、請負契約者、その他)[m]	G4-LA6	4.10	3.98	33
死亡件数(社員、請負契約者、その他)[m]	G4-LA6	12	5	33
事業部門ごとの年間平均研修時間[r]	G4-LA9	23.0	28.8	35
管理職に占める女性の割合(%)[p]	G4-LA12	31.1	33.7	33
途上国の現地法人経営陣に占める現地出身者の割合(%)[s]	G4-EC6	52.0	56.4	該当なし

(a) 合弁事業は含まない。
(b) ネスレの合弁事業の正味持ち分を含む。
(c) 2014年の評価範囲:ネスレの総売上高の73.8%。科学的な公衆衛生推奨事項(世界保健機構(WHO)やアメリカ医学研究所(IOM)など)に基づく「ネスレ栄養基盤」の基準に対してネスレ製品を評価する。
(d) 世界の製品開発チームの約75%の報告に基づく。製品によっては、ある成分を「減らす」と同時に他の成分を「増やす」場合もある。
(e) 「60/40+」プログラムは、消費者パネルを使ってテストし、少なくとも100人中60人以上が競合製品に比べてネスレ製品を好まなければならない。このKPIは、ネスレの「60/40+」プログラムが活発に実施されていることをよく反映している。評価結果は、すべての条件に変化がなければ、最長3年間有効とする。
(f) ペットケア事業、および米国に限っては、「ドライヤーズ」とライセンスブランド、「ハーゲンダッツ」と「カリフォルニア　ピザキッチン」を除く。
(g) 2014年の数字は世界全体。2013年の数字は、EU28カ国にスイス、アドリア海地域、ウクライナ、モルドバを加えた地域。(ミルクや砂糖などを加えていない)コーヒー、紅茶、水、ネスレ プロフェショナル(業務用)の製品、ギフト用チョコレート、調味料、ペットケア、ネスレ ヘルスサイエンスとネスレ ニュートリションを除く。
(h) 1サービング単位販売の製品、もしくは、機器や装置を使用して販売される1食/1杯分が「ネスレ栄養基盤」に合致もしくはそれ以上とみなされる製品。もしくは、栄養面でのニーズに応じて1サービング分を調整する詳細な指示がある製品。現状では、これはポーションガイダンス(摂取量の指針)に従ったポートフォリオの一部分である。
(i) 精度を高めるため品目数を再計算、実際に販売している品目のみを含む。
(j) この割合は、2011年9月に再定義された子どもの視聴者が35%以上という厳しい基準にするネスレの通年のコンプライアンス割合を示している。
(k) 内部と外部監査に基づく。内部監査は、本部に拠点を置く監査担当(ネスレグループ監査)と各国に拠点を置く監査担当(ネスレマーケット監査)で実施している。今回初めて各国に拠点を置く監査担当に基づいて報告している。外部監査はビューロー・ベリタスが実施した。
(l) ネスレではFTSE4Good(フィッチフォーグッド)母乳代替品のマーケティング基準を順守しており、同基準で「高リスク」国とは、5歳未満の死亡率が1,000人中11人以上、もしくは5歳未満の急性栄養失調率が2%超の国である。それ以外の国は「低リスク」とした。
(m) 合弁事業を含む。
(n) 一部の大型合弁事業において、2013年に初めて環境データの報告があったが、実質的な消費データがなかったため2013年のデータを修正した。2013年に初めて環境データの報告をしたが、具体的な消費データのない大型合併事業が一部あったので、2013年のデータを修正した。
(o) 工場の座標修正、保護地域の境界線の明確化、3工場の売却を反映したため2013年の数字と異なる。
(p) 人事システムに登録されたネスレの社員が対象(全社員の約85%)。
(q) 監査企業3社によるグローバルな外部監査プログラム「CARE」によって、全社員およびネスレが所有、運営する全施設が現地の法律と社内の「経営に関する諸原則」および「考働規範」を順守していることを確認している。監査は3年ごとに実施。
(r) 研修システム、各マーケットからの提出資料より手集計合算(全社員の約85%に適用)。
(s) 合弁事業を含むネスレの全社員が対象。

会長・CEOからのメッセージ

2014年共通価値の創造の報告書では、現在私たちが直面している課題と社会的なコミットメント(責務と履行)の達成に向けた実質的な進捗についての評価を掲載しています。本報告書は、企業が長期的に繁栄し株主の皆さまに価値を創出するためには、同時に社会にとっての価値も創出すべきだという私たちの確固たる信念を明確に示すものです。個々のコミットメントはすべて、私たちの都合ではなく信念に基づいています。人、異なる文化、環境、そして私たちが住む世界の未来を尊重することが、共通価値の創造の基盤となります。

これらのコミットメントは、社内外両方の目的に応えるものです。社外とのコミュニケーションを形作ると同様に、ネスレのビジネスユニット、ゾーン、マーケットで、経営陣と社員全員が一致団結して特定の目標を達成できるのです。また、私たちのステークホルダーの意見にも配慮しています。私たちは、非政府組織、学会、国際機関、各国政府、その他の組織と定期的に会合を開き、批判や励ましの声に耳を傾け、学んでいます。このような対話によって私たちの取り組みは強化されます。

また、ネスレの社会的取り組みや事業を強化する方法について株主の皆さまから見識ある質問をいただけることをありがたく思います。これについてご説明いたします。ネスレは、栄養・健康・ウエルネス分野でリーディング企業になるという思いを、企業戦略と企業としての存在意義の中心に持っています。ネスレは人々の健康とウエルネスに深い関心を持ち、研究施設のネットワーク、ネスレ インスティテュート オブ ヘルスサイエンス、ネスレ ヘルスサイエンス、新設のネスレ スキンヘルスなどを通じて未来に投資しています。栄養面の深い知識、よりおいしく健康的な食品飲料確保こそ消費者が求め、社会が必要としています。

水も良質な栄養に欠かせないものであり、同時に人の権利であり食料安全保障の要でもあります。私たちはあらゆる年齢層に対して健康的な水分補給を積極的に推進すると同時に、自らの事業運営での水使用を削減する努力を尽くし、2015年以降の開発課題に水使用量の具体的な目標を含めることを提唱します。メキシコの

2014年共通価値の創造フォーラムで講演する ピーター・ブラベック-レッツマット会長

国連貿易開発会議と共催した第6回共通価値の創造フォーラムで政府、学会、一般市民、企業からの参加者に挨拶するピーター・ブラベック-レッツマット（ネスレ会長）

北京の食料安全研究所を訪れたポール・ブルケCEO

2014年3月、食品安全研究所の開設のため北京を訪れたポール・ブルケ（ネスレCEO）。本研究所は当局と協力して食料安全政策と基準に対する科学的根拠の提供を支援します。

セロアグアにある新たな乳製品工場は水資源への影響に配慮しており、事業運営で水使用量を削減するという私たちのコミットメントと、目標達成のためにいかに新技術や革新的な手法を活用しているかを示すよい例です。水資源は事業機会であり、運営上の課題であり、私たち全員にとって深くかかわる社会的問題でもあります。これまで何度も申し上げていますが、石油が枯渇するよりもずっと早く水資源は枯渇してしまうでしょう。

同様に、ネスレの「責任ある調達ガイドライン」と結び付いた農業・地域開発、農家との協力によって、持続可能な農業コミュニティの構築ニーズに取り組めるだけでなく、「私たちの食料はどこから来ているのか」を知りたい消費者の要求にも応えられます。ネスレの農業・地域開発への取り組みは、重要なカテゴリーの製品の供給量と品質保障と、将来世代のために農業の魅力を高めることにも役立っています。

ネスレの工場運営、持続可能な成長、事業展開する国やコミュニティの発展に必要な環境や社会的サステナビリティのためのコミットメントの積極的な管理を続けます。Nestlé needs YOUthと呼ばれる若年層雇用への私たちのコミットメントは、ヨーロッパ全土の若者のスキル強化と雇用機会の拡大を支援します。このプログラムは、まもなく全世界へ拡大させます。

共通価値の創造こそがネスレの事業手法で、私たちの包括的な経営思考に組み込まれています。ネスレは、事業機会と社会的ニーズを統合することを、リーダーと社員に期待します。社内の管理ツールによって、このプロセスは容易になります。つまり、財務と栄養目標に対してネスレブランドを評価する戦略的ポートフォリオツール、社会的指標を含む資本支出プロセス、そしてカカオやコーヒー豆生産農家、酪農家、農業コミュニティのニーズに深く入り込む「農業・地域開発の枠組み」によって、私たちの取り組みと投資対象を効率よく定めることができるのです。ネスレの課題は、共通価値の創造の事業価値を測る一貫した手法を見つけ、活動だけでなく社会的影響も評価できるようにすることです。2015年も、このことを深く掘り下げます。

社会の成功と経済活動は密接にかかわり、相互に補い合うという長期的な視点で事業を行う共通価値の創造を共に進めましょう。これはまた、社会の最も深刻な懸念や課題に取り組む効果的な協力体制につながるはずです。栄養問題による低栄養と過剰栄養という「二重負荷」、水不足、持続可能な農業、気候変動、人権などの問題に取り組むには、よりよい対話、かかわり、そしてパートナーシップが必要です。

今年、子ども向けに責任あるマーケティング、腐敗対策、社内外の苦情処理制度など、いくつかの新しいコミットメントを導入しました。本報告書でも、ネスレは企業サステナビリティリーダーシップの重要な体制のひとつ、国連グローバル・コンパクト・リードの提唱メンバーとして国連グローバル・コンパクトを支援していることを再度述べています。私たちのコミットメントや本報告書に関する皆さまのご意見をお待ちしています。

ピーター・ブラベック-レッツマット
会長

ポール・ブルケ
CEO

ネスレにおける共通価値の創造

ネスレは、150年前に子どもの命を救う乳児用シリアルの製品化に成功し会社を設立して以来、栄養・健康・ウエルネス分野を代表する世界的企業へと成長しました。この成長により、私たちが提供する製品やサービス、雇用、サプライヤーのネットワーク、そして世界中の経済への貢献を通じて何百万人もの人々の生活の向上を支援することが可能になりました。途上国における多くの小規模農家を含む410万世帯がネスレによって生計を立てています。2014年、私たちは695,000の農家の生活を支援し、339,456人を直接雇用しました。ネスレグループの給与総額と福利厚生費は約160億スイスフランで、28億5,900万スイスフランの法人税を支払いました。

ネスレはこの価値の創造を事業成功のための基本的な必要条件と考えますが、それに留まりません。グローバルリーダーであることは、責任を持って事業を行う義務だけでなく、社会に対して長期的な好影響を生み出す機会ももたらします。私たちはこれを共通価値の創造と呼んでおり、事業のすみずみにまで私たちの包括的な経営思考にしっかりと組み込んでいます。

私たちの思いは、栄養・健康・ウエルネス分野でリーディング企業であることです。人口が増大し、健康管理面での課題が増加していく中、栄養分野での私たちの取り組みの本質的な価値はますます拡大していきます。このような理由から、栄養・健康・ウエルネスを共通価値の創造の中心に据えています。社会が直面している重要課題と同じく、事業機会であり運営上の課題でもある水資源と農業・地域開発も最優先事項です。これはすべて、将来のために希少な天然資源を保護するという使命感に支えられています。環境や社会的サステナビリティのためのコミットメントにより、ネスレは今後も長期的なソリューションの一翼を担うことができます。協力し共同するよりよい方法を見つけることが、社会の最重要課題への取り組みとネスレが創造する共通価値を最大化する上で鍵となります。

「共通価値の創造」

これらの環境とサステナビリティの主要な指標の2014年のパフォーマンスは、私たちのコミットメントの進捗を表します。

カーボン・ディスクロージャー・リーダーシップ・インデックス – 2014年10月、環境サステナビリティ格付け会社CDPから100点中96点というスコアを獲得し、気候変動情報開示先進企業賞を受賞しました。

CDPウォータープログラム – CDPウォータープログラムは、企業のウォーター・スチュワードシップを推進するものです。ネスレの対応は、2014年に初めてスコア評定されました。最高スコア20の「リーダーシップ」という評価を獲得し、私たちの水資源戦略と社会政策への取り組みが認められました。

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス – ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスは、世界のサステナビリティ先進企業のパフォーマンスを評価するものです。2014年はスコア88を獲得し、業界2位でした。

FTSE4Good（フィッチフォーグッド） – FTSE4Goodは、世界的に認められた企業責任基準を満たす企業のパフォーマンスを測定するもので、ネスレはこれに登録されています。

オックスファムの「ビハインド・ザ・ブランド」 – 2014年、オックスファムの「ビハインド・ザ・ブランド」でネスレは再び最上位にランクインしました。これは女性、農家、土地の権利などを含む7つのテーマにわたって、世界の10大食品飲料メーカーを評価するものです。

916億スイスフラン
グループ総売上高

10億サービング以上
1日に消費されるサービング数

410万世帯
ネスレによって生計を立てている世帯数

339,456人
社員数

共通価値の創造

160億スイスフラン
給与総額と福利厚生費

695,000
ネスレと直接取引する農家

442カ所
世界の工場数

28億5,900万スイスフラン
2014年に支払われた法人税

ネスレのコミットメント概要

ネスレのコミットメントは私たちの重要課題に直接関係しています（39ページを参照）。コミットメントによって継続的な改善が促進され、ステークホルダーはネスレが約束を果たすことを認識できます。明確性と透明性を高めるため、昨年からコミットメントのタイトルを変更したケースもありますが、コミットメントの背後にある思いは変わりません。

より詳細な手法、方針、手順については、詳細版の報告書をご覧ください。
www.nestle.com/csv/downloads

栄養

- 子どもの栄養分野で知識のリーダーシップを構築
- 協力を通じて栄養と健康に関する研究で業界をけん引
- 子ども向けにデザインされた栄養製品を提供
- 微量栄養素の強化による低栄養のリスク削減を支援
- ネスレ製品に含まれる食塩を削減
- ネスレ製品に含まれる糖類を削減
- ネスレ製品に含まれる飽和脂肪を削減、トランス脂肪を除去[2]
- 全粒穀物と野菜の摂取を奨励
- すべてのネスレ製品のラベルに栄養情報とアドバイスを記載
- ポーションガイダンス（1食分を知らせるさまざまな工夫）を提示
- 健康的な食生活、ライフスタイル、運動を推進
- 健康的な生活習慣の一部として、健康的な水分補給を推進
- 適切な栄養摂取と食事のために、教育プログラムを実施
- 子ども向けに責任あるマーケティングコミュニケーションを実施
- 責任を持って母乳代替品を販売

8ページ

農業・地域開発

- 農家のニーズを理解するために「農業・地域開発の枠組み」を実施
- サプライチェーンにおける責任ある調達を実施
- カカオ農家と共に「ネスレ カカオプラン」を実施
- コーヒー農家と共に「ネスカフェ プラン」を実施

18ページ

2　このコミットメントはネスレ製品に含まれる部分水素添加油由来のトランス脂肪について述べています。

水資源

- 事業全体における水の利用効率と
サステナビリティの向上に向けた取り組み
- 効果的な水資源利用方針と
ウォーター・スチュワードシップを推進
- 適切な排水処理
- サプライヤー、特に農業関係と協力
- 水資源の保全意識を高め、
バリューチェーンを通じた水へのアクセスと
公衆衛生を改善

環境サステナビリティ

- 事業における資源の利用効率を改善
- ネスレ製品パッケージの
環境パフォーマンスを改善
- 製品が環境に与える影響の評価と最適化
- 気候変動へのリーダーシップを提供
- 森を含む自然資本を保全
- 有意義で正確な環境情報の提供と対話

人材、人権とコンプライアンス

- 事業運営とサプライチェーンにおける
人権への影響の評価と対応
- 重点原料における児童労働を根絶
- 全社員とステークホルダーが
コンプライアンス違反の疑いを
容易に報告できる体制を構築
- 腐敗や賄賂に対抗する取り組み
- ネスレの全部門で、全社員の基本的安全性と
健康を確保する仕組みを整備
- 社員の男女比のバランスを向上
- ヨーロッパのネスレで30歳未満の若年層
2万人に雇用機会を提供
- 共通価値の創造(CSV)、栄養(NQ)、
環境サステナビリティに関する研修を
社員に実施

22ページ

26ページ

30ページ

栄養

私たちの思いは、栄養・健康・ウエルネス分野で世界的なリーディング企業であることです。
研究、製品の再調合とイノベーション、栄養表示、子ども向けの責任あるマーケティング、健康的な生活習慣の推進といった分野での私たちのグローバルコミットメントにより、戦略が形を成し、効果的に実施できるのです。

私たちはすべての目標を、提示した年の12月31日までに達成することを目指します。

私たちのコミットメント

子どもの栄養分野で知識のリーダーシップを構築

私たちの目標

2016年までに、子どもの栄養についての知識を広め、ネスレ製品やサービスの開発について知ってもらうため、米国、メキシコ、中国、ロシアを含め、世界10カ国以上で大規模調査プロジェクトを実施すること。[3]

私たちの進捗状況

子どもの栄養摂取、食生活パターン、関連する生活習慣の因子を理解するために10カ国以上で調査研究するという新たなコミットメントは、ネスレによる「乳幼児への栄養供給の研究(FITS)」の成功に基づきます。この研究は、米国で2回、その他の5カ国においてさまざまな規模で実施されました。現在、米国で3回目の調査研究を開始し、妊婦の栄養摂取の研究も行ったメキシコと中国ではデータを分析中です。

4歳から12歳までの子どもの食生活を分析する「子どもの栄養と健康に関する研究」は、アメリカ、メキシコ、中国で進行中です。

私たちは、その他の国でもステークホルダーと連携してさらなる研究を始めます。2014年、数々の国際会議や医療関係者会議などで研究結果を発表し、研究成果に応じて新製品イノベーションの仕組みを強化しました。

私たちの視点

ネスレは、親たちを支援する製品、情報、教育を提供し、子どもたちの健康的な成長と発育を促します。食事摂取や行動に加え、私たちの研究は子どもの食事や主な生活パターンにかかわる家族の行動を調べ、身長や体重についても記録しています。これにより、ネスレ製品の設計、消費者コミュニケーション、教育プログラムについても伝えることができます。

世界中で現地の専門家と共に研究、協力することは、多くを学ぶ機会を与えてくれるだけでなく、重要な課題を提示してくれます。例えば、記録が難しく内容もデリケートになる子どもの食習慣についての詳細な情報を入手することなどです。私たちは、ネスレニュートリション インスティテュートを通じて、240,000人を超える公衆衛生のオピニオンリーダー、第三者組織、小児科医の方々と今後も結果を共有し、研究成果を最大限活用します。

私たちのコミットメント

協力を通じて栄養と健康に関する研究で業界をけん引

私たちの目標

2016年までに、ネスレ インスティテュート オブ ヘルスサイエンス(NIHS)とネスレ臨床開発部門の分子栄養学の可能性と臨床戦略をさらに発展、融合させ、栄養学的ソリューションを用いた疾病管理を改善すること。

2016年までに、ネスレ リサーチセンター(NRC)の焦点をネスレが良い影響を与えられる5つの重要な課題に当てること。すなわち、健康な加齢、健康的な楽しみ、初めの1,000日(母親の妊娠期から子どもが2歳の誕生日を迎えるまで)と健康的な子ども、持続可能な栄養、食品の安全性と品質です。

私たちの進捗状況

2014年1月、NIHSは、アメリカを拠点とする幹細胞技術開発業者セルラー・ダイナミクス・インターナショナル(CDI)と長期契約を締結しました。この契約によりNIHSは、大人の非胚性幹細胞(iPSC)[4]から取得した細胞産物を利用し、健康維持や糖尿病、肥満などの疾患管理に関する研究プログラムを推進できます。

また、2014年にネスレはシンガポール政府の科学技術研究庁(A*STAR)と戦略的パートナーシップを結び、食品科学と技術に関するグローバルな研究プログラムを始めます。

NRCの研究チームは現在、食品の安全性と品質、初めの1,000日と健康的な子ども、健康な加齢、健康的な楽しみ、持続可能な栄養という5つの研究プログラムに焦点を当てています。2014年末には、NRCによる33件の臨床試験、すなわちNRCが主導する10件の試験と、ネスレのビジネスが発案し、NRCが実施した23件の試験が実施されました。

私たちの視点

ネスレには、知識と研究開発能力を活用し、社会に好影響をもたらす責任があります。イノベーションへの投資と先端科学の活用によって、適正なレベルの生活の質(クオリティ オブ ライフ)の恩恵と実証された健康がもつ経済的価値を組み合わせることにより、安全な栄養療法をもとに食品飲料と医薬品の中間に位置する新たな産業を生み出そうとしています。消費者、患者、医療分野のパートナーのためにネスレ ヘルスサイエンスは、健康管理の方向性を変える栄養療法の役割を革新していくことを目指します。しかし、科学研究の成果を商業的に実現可能な製品にしていくためには、長く複雑なプロセスが必要となります。課題の一つがメディカルフードの定義に関することです。すなわち、特定の栄養を必要とする疾患や症状を持つ患者の食事管理のために特別に設計された食品の定義です。製品表示、ラベル、マーケティングにおいて間接的な影響を与える可能性があるメディカルフードの定義には、依然として多くの課題があります。

テーラーメードビタミンへの第一歩

栄養素とさまざまなライフステージにある患者への影響と関係を分子レベルで理解するため、NIHSと、アメリカのマサチューセッツ州を拠点とするウォーターズ・コーポレーションは、個人のニーズに合わせたビタミン配合を実現する画期的な研究プロジェクトを行っています。このパートナーシップの目的は、血液や尿などの体液内のビタミン量を測定する新しい検査法の開発です。最終的に、これらのツールは個人や集団が必要とする特定栄養素を特定し、対処するための支援になるでしょう。

3　対象国の一つがフランスからロシアに変更されました。
4　ネスレはヒト胚性幹細胞を使った研究を一切していません。

栄養

私たちのコミットメント

子ども向けにデザインされた栄養製品を提供

私たちの目標

2014年までに、子ども向け（12歳未満）製品[5]の100%で、世界保健機関やアメリカ医学研究所が発行する栄養科学と推奨摂取量などに基づいた、「ネスレ栄養基盤」の基準[1]を満たすこと。

2015年までに、子ども向け製品[5]の100%で、子ども用の「ネスレ栄養基盤」のすべての基準[1]を引き続き順守すること。

私たちの進捗状況

2014年末には、子ども向け製品の98%[6]が子ども用の「ネスレ栄養基盤」のすべての基準を順守しました（2013年は96%）。私たちは、著名な科学者と共に「ネスレ栄養基盤」の基準の強みと範囲について検討を続けています。2014年に基準を満たすため再調合した製品には、クリームデザートの*Milkybar*（飽和脂肪40%削減、2015年発売）、アイスキャンデーの*Pirulo*（糖類35%削減）、ヨーグルトの*Mio*（糖類18%削減）などがあります。

2015年1月から、子ども向け製品のすべてが「ネスレ栄養基盤」の基準を満たすように製造されています。

私たちの視点

すべての子ども向け製品[5]を、世界保健機構やアメリカ医学研究所などによる国際的な公衆衛生の推奨事項に照らして評価し、子どもの食品環境の改善に貢献することを目指します。

ネスレは多くの国々で製品を製造、販売しています。それに伴い、栄養と公衆衛生科学の両方の課題に対応しなければならず、また、ネスレの栄養プロファイリングシステムに公衆衛生での優先事項の変化を反映させていかなければなりません。私たちが直面しているもう一つの重要な課題は、一つのITシステムで世界各国の全レシピの開発内容を正確に把握、追跡することです。1日に消費されるネスレ製品は10億サービングを超えており、今後も製品ポートフォリオは拡大し続けることを考えると、これは大変な継続的作業になります。

「ネスレ ネスクイック」（パウダー製品）中の糖類を削減

2014年以降、世界中の「ネスクイック」（パウダー製品）において1,200トンもの大幅な糖類削減を実施し、消費者の好みを保ちつつ「ネスレ栄養基盤」の基準を満たしています。糖類含有量を削減しながら好まれる味を維持することが主な課題でしたが、糖類をココアに代えることで実現できました。この取り組みは2015年に入っても継続しており、新たに登場した技術によってさらに大幅な糖類削減が可能になります。

私たちのコミットメント

微量栄養素の強化による低栄養のリスク削減を支援

私たちの目標

2016年までに、特に子どもや出産年齢の女性を対象とした微量栄養素強化食品を世界で年間2,000億サービングまで増やし、微量栄養素不足の対策に役立てること。

2015年までに、微量栄養素強化食品のポートフォリオを拡大し、地域の農業従事者に利益をもたらすため、バイオフォーティフィケーション（生物学的な微量栄養素強化）を行った穀物の開発と主要な市場で新製品を発売すること。

私たちの進捗状況

2014年も目標に向かって進歩し続け、世界中で1,830億サービングの微量栄養素強化食品を提供しました（2013年は1,670億サービング以上）。栄養強化した乳児用シリアルやグローイングアップミルクなどの、子どもや出産年齢の女性を対象とした製品分野を拡大しました。

これからも、数カ国の農業研究所と提携して主要作物でバイオフォーティフィケーションを行った品種を開発、試験していきます。現在は、これらの作物が市場に出回るようサプライチェーンを確立することに力を注いでいます。2014年は、有望な4つのバイオフォーティフィケーション作物であるとうもろこし、小麦、さつまいも、米に焦点を当てました。

私たちの視点

ネスレは安価で栄養価の高い食品の栄養強化を通じて微量栄養素不足対策を支援することに尽力しています。バイオフォーティフィケーションを行った主要作物の新たな品種を開発することは、ネスレ製品の栄養成分を改善し、同時に地域社会における微量栄養素不足に対応する一つの手段となります。

しかし、異なる気候条件、耐病性、実証された栄養的特性のもとで新しい植物品種の収穫高を検証しなければならないため、この複雑なプロセスには数年かかることもあります。新しい作物を発売するためには、さらに関連政府当局による承認が必要となり、高品質の種子を安定して供給できる仕組みを確立しなければなりません。農家に対しては、収穫高を上げるための研修や支援が必要な場合もあります。私たちのバイオフォーティフィケーション食品が与える影響を測定する方法を特定することも重要です。

子ども向け製品[5]の
98%[6]が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準を順守しました。

私たちのコミットメント

ネスレ製品に含まれる食塩を削減

私たちの目標

2014年までに、子ども向け(12歳未満)製品[5]の100%が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準[1]を順守し、子どもの食事における食塩量の削減を推進すること。

2016年までに、「ネスレ栄養基盤」の基準[1]を満たしていない対象となる[7]すべての製品についても、さらに10%食塩含有量を削減し、製品ポートフォリオのうち実現がより困難な分野についても徐々に食塩を削減すること。

私たちの進捗状況

2014年、子ども向け製品[5]の98%[6]が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準[1]を順守しました(2013年は96%)。

「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準に照らして製品ポートフォリオ全体を評価したところ、全体の食塩削減量は4.7%でした。必要とされる基準を現在満たしていない製品については、その解決策を検討中です。

すでに、以下の広範囲にわたる食塩削減製品を再発売しました。

- ドイツの「マギー」スパゲティボロネーゼ'Fix'(食塩17%削減)
- ロシアの「マギー」ジューシーチキンガーリックと「マギー」ジューシーチキンパプリカ(それぞれ食塩12%と19%削減)
- オーストリアの「マギー」スープ製品(食塩14.5%〜22.5%削減)
- アメリカの*Stouffer*ベジタブルラザニア(食塩19%削減)

私たちの視点

ナトリウムは必須ミネラルですが、製造、家庭調理または卓上で加えられ、食事からの食塩は過剰になっています。2025年までに食塩摂取量を1人1日5g未満に抑えるというWHOの目標を支援できるよう、嗜好性の高いすべての食品で食塩削減を推進することを2013年に宣言しました。しかし、一部の製品では食塩含有量の削減が技術的に困難なものもあります。調味料としての用途以外でも、食塩は食品の保存や食感にとって重要です。

また、お客さまが自分で食塩を追加し、より塩分の高い他の製品を選ぶことを避けながら、食塩含有量を減らす必要があります。このような理由から、私たちは取り組みを徐々に推進し、食塩含有量を削減しながら成分配合を最適化して味を良くしています。

トマトモッツァレラスープの食塩を削減

ドイツで販売される「マギー」トマトモッツァレラスープの食塩含有量を34%削減しました。課題は味に影響を与えることなく食塩を削減することでした。ネスレの研究開発担当シェフたちは、最適な原材料を選択、最適化してさまざまな味のバランスを再調整することでこの課題を克服しました。同時に、糖類含有量を36%削減、飽和脂肪酸を53%削減することに成功しました。この新しいレシピは、消費者味覚テストで66対34という結果、つまり66%の人が他社の同等製品よりも好ましいと回答しました。
この製品は2015年6月に再発売される予定です。

1 「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機構(WHO)、アメリカ医学研究所、その他の世界的もしくは特定の国の公的機関が発行する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいています。ネスレ製品は、ネスレ栄養プロファイリングシステムを使用して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性を調べ、上記の基準に照らして評価します。
5 顧客の50%以上が12歳未満か、この年齢層を対象にしていると捉えられる製品。
6 残り2%の製品はすべて、製品が発売可能になる前の市場レベルにおける承認、登録プロセスのいずれかの段階にあります。
7 対象となる製品とは、適用除外品(ネスレ ニュートリション、ネスレ ヘルスサイエンス、ネスレ プロフェショナル、ネスレ ピュリナ ペットケア、(ミルクや砂糖などを加えていない)コーヒー、紅茶、水、ギフト用菓子、料理用調味料と卓上調味料、4歳未満の子ども向け製品など、その他の法的規制の対象となり規制で認められないもの)を除きます。

栄養

95%以上の子ども向け[5]または10代向け[8]の朝食用シリアルには他のどの材料よりも全粒穀物が多く含まれています。

私たちのコミットメント

ネスレ製品に含まれる糖類を削減

私たちの目標

2015年までに、子ども向け(12歳未満)[5]または10代向け(12歳以上18歳未満)[8]の朝食用シリアルブランドでサービングごとの糖類含有量を9g以下に削減し、子どもの食事に含まれる糖類の削減を推進すること。

2016年までに、「ネスレ栄養基盤」の基準[1]を満たしていないすべての対象となる[7]製品についても、さらに10%糖類含有量を削減し、製品ポートフォリオのうち実現がより困難な分野についても継続的に改善すること。

私たちの進捗状況

2014年末までに、子ども向け製品[5]の98%[6]が「ネスレ栄養基盤」の糖類の基準[1]を順守しました(2013年は96%)。

「ネスクイック」、*Chocapic*、*Honey Cheerios*、*Lion*、「ミロ」、その他ネスレブランドの朝食用シリアル15製品以上で、1サービング(30g)の合計糖類含有量を9g以下に削減しています。すでに、以下の糖類削減製品を再発売しました。

- 世界中の「ネスクイック」(パウダー製品)(1,200トンの糖類削減。10ページ参照)
- イタリアの*Belte*アイスティー(糖類18%削減、カロリー18%削減)

私たちの視点

糖類摂取量が増加するとその他の重要な栄養価の高い食品の摂取量が減少するため、公的な保健機関は糖類の過剰摂取を控えるよう推奨しています。バランスのとれた朝食、あるいは朝食を食べてもらうこと自体が重要なため、ネスレは徐々に糖類削減を進め、味の好みを長期的に順応させていこうとしています。風味、食感、組成、色、保存性に影響を与えずに糖類を削減することは非常に困難な場合もあります。コンデンスミルクなど、必要な成分が法的に定められている製品もあります。このような製品に関しては、栄養表示とポーションガイダンスを改善しています。

私たちのコミットメント

ネスレ製品に含まれる飽和脂肪を削減、トランス脂肪を除去[2]

私たちの目標

2014年までに、子ども向け製品[5]の100%で「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪基準[1]を満たし、子どもの食事における飽和脂肪量の削減を推進すること。

2016年までに、「ネスレ栄養基盤」の基準[1]を満たしていないすべての対象となる[7]製品についても、さらに10%飽和脂肪含有量を削減し、部分水素添加油(PHO)由来のトランス脂肪を除去して、製品ポートフォリオの中で実現がより困難な分野についても継続的に改善すること。

私たちの進捗状況

2014年末までに、子ども向け製品[5]の98%[6]で「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪基準[1]を満たしました(2013年は96%)。

全体では、ネスレ製品のおよそ10%で「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪基準を満たしていません。これら製品の一部については、現在解決策を検討中です。

2014年には、ネスレの食品飲料から部分水素添加油由来のトランス脂肪をすべて除去するという方針に強化しました。

現在ネスレが使用している油脂の96%はトランス脂肪に関するネスレの方針を順守しています。

以下の飽和脂肪を削減した製品を再発売しました。

- ポーランドのブイヨン(13%削減)
- ドイツのハーブソース(33%削減)
- フランスのオニオンスープ(80%削減)
- オーストラリアの*Uncle Toby's Le Yoghurt Topps*(34%削減)

私たちの視点

食事に含まれる脂肪は、健康的なバランスのとれた食生活の一部として重要ですが、食事から飽和脂肪を過剰に摂取すると、循環器疾患などの非伝染性疾病にかかるリスクが大きくなります。製品によっては、安全性、食感、見た目と味を損なわずに飽和脂肪を減らすことは困難です。

トランス脂肪は、牛乳や肉製品に自然に含まれているものですが、人間の食生活におけるトランス脂肪の大部分は、パン類や嗜好性の高いスナックなど、部分水素添加植物油を含む食品に含まれています。ネスレの目標は、すべての部分水素添加油由来のトランス脂肪を完全に除去することです。ネスレはサプライヤーと密に協力し、必要に応じて新しい原材料の調達と開発に取り組みます。

液体クリーマー*Coffee-mate*からトランス脂肪を除去

2014年、ネスレを代表する製品テクノロジーセンターは、油剤安定性に関する長年の固定概念を打ち破り、液体*Coffee-mate*のレシピを再調合しました。油脂サプライヤーと協力し、部分水素添加大豆油と部分水素添加綿実油を高オレイン酸大豆油に置き換えることに成功しました。原料となる新しい作物が大規模栽培され、ネスレの品質要求に適合するよう工業化に成功したのは初めてのことでした。その結果、すでに年間16,000トンの部分水素添加油を完全に置き換え、2014年には6,000トンのトランス脂肪をネスレ製品から除去しました。味や消費者の好みを損なわず、あるいは飽和脂肪含有量を増やすことなく達成しました。2015年、26,000トンの油を置き換え、10,000トンのトランス脂肪を除去します。この置き換え作業は2015年9月までに完了します。

QRコードをスキャンすることで**43カ国の31**のネスレブランド製品の情報をご覧いただけます。

私たちのコミットメント

全粒穀物と野菜の摂取を奨励

私たちの目標

2015年までに、栄養価を高めるため、1サービングあたりの子ども向け（12歳未満）[5]または10代向け（12歳以上18歳未満）[8]の朝食用シリアルにおける全粒穀物の割合を他のどの材料よりも高くすること。

2015年までに、30カ国で「マギー」料理教室を実施し、全粒穀物と野菜を使った料理を奨励すること。

2015年までに、世界で販売する「マギー」製品の90%で家庭での調理と野菜を含む食事を奨励すること。

私たちの進捗状況

子ども向け[5]または10代向け[8]の朝食用シリアルのうち、95%以上で他のどの材料よりも全粒穀物の割合を増やしており（2013年は74%）、2015年までにこれらの製品の100%で全粒穀物を主要材料として使用することを目指します。現在、1サービングごとに8g以上の全粒穀物を含有しているシリアル製品のパッケージに緑のバナーを付け、消費者にとってわかりやすい表示をしています。

2014年末までに、20カ国で「マギー」料理教室を実施しました（2013年は16カ国）。現在では、「マギー」製品の73%で製品パッケージや販促資料を通じて家庭での調理と野菜を含む食事を奨励しています（2013年は68%）。

私たちの視点

全粒穀物や野菜は健康的な食生活に欠かせないものですが、多くの人々は十分に摂取していません。あるデータによると、10人中9人が推奨される摂取レベルを下回っています。このような理由から、ネスレの朝食用シリアルに全粒穀物を使用し、レシピに含まれる全粒穀物を増やすためにイノベーションや改善プログラムを実施しています。この取り組みは着実に進捗していますが、全粒穀物を追加することは味、食感や賞味期限などさまざまな影響を与えることから、徐々に恒久的な改善を実現するため慎重に進めています。2015年末までに、子ども向け[5]または10代向け[8]の朝食用シリアルすべてで全粒穀物の割合を高くできると考えています。野菜摂取を推進する上での課題は、ネスレの取り組みが消費者の行動の長期的な変化にどうつながるのか追跡が難しい点です。

私たちのコミットメント

すべてのネスレ製品のラベルに栄養情報とアドバイスを記載

私たちの目標

2016年までに、世界で対象となる[9]全食品飲料のパッケージ前面に、1日のカロリーガイド（GDA）に基づく表示をし、消費者に栄養成分について知らせること。

2016年までに、（規制で認められれば）子ども向け[5]のすべての製品に子ども用の基準値に基づいたGDA表示を導入し、親が子どもに栄養価の高い製品を選べるよう支援すること。

2016年までに、パッケージ上のスマートフォン向けQRコードを通して詳細な製品情報と栄養に関するアドバイスを提供し、より情報を得やすくすること。

私たちの進捗状況

ヨーロッパ全土のネスレ製品にGDAに基づく栄養表示を広範囲で導入済みで、現在は他の全地域にこの手法を拡大しようとしています。2014年末には、ネスレの対象となる[6]製品の79.7%のパッケージ前面にGDA表示を導入（2013年は53.5%）。2014年には、製品表示上の規制で認められている53カ国で、対象となる子ども向け製品の62.7%でGDA表示を導入しました。

43カ国の全31ブランドにまたがる2,000を超える製品ウェブサイト[10]を通じて、特に子ども向けおよび家族向けのブランドに関する製品情報を現在提供しています。

私たちの視点

カロリーあるいは糖類、脂肪などの栄養素の1日の推奨摂取量に占める割合について消費者に知らせるGDA表示を推進します。わかりにくい100g単位ではなく一般に消費されるサービングを基準にした1日のカロリーガイド表示を提示することを重視しています。

GDAに関する課題は製品表示上の規制です。ネスレは、インフォームドチョイス（消費者に正しい情報を与えた上で賢く選んでもらうこと）を重視し、規制で認められている地域では、各消費者に合わせたGDA情報を表示した子ども向け製品[5]の再販売を始めました。規制で認められていない地域では、公的機関、栄養の専門家、産業団体と協力してGDAの利点を伝えるとともに、消費者の教育や参画を促しています。

ラベル表示以外の手段

昨年のメディア報道によると、2014年、インドと中国で購入されたスマートフォン台数は5億を超えたと思われます。インドのみでは、スマートフォン台数が世界第2位の規模になるとの予想でした。私たちは、消費者が栄養に関する情報をより得やすくなるようにしたいと考え、インドで販売する「マギー」ブランド製品にスマートフォン向けのQRコードを表示しています。「マギー」スープについては、ポーションガイダンスや野菜摂取に関するアドバイスを掲載した（パッケージ上のQRコードをスマートフォンでスキャンしてアクセスできる）サイトを立ち上げました。

1 「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機構（WHO）、アメリカ医学研究所、その他の世界的もしくは特定の国の公的機関が発行する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいています。ネスレ製品は、ネスレ栄養プロファイリングシステムを使用して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性を調べ、上記の基準に照らして評価します。
2 このコミットメントはネスレ製品に含まれる部分水素添加油由来のトランス脂肪について述べています。
5 顧客の50%以上が12歳未満か、この年齢層を対象にしていると捉えられる製品。
6 残り2%の製品はすべて、製品が発売可能になる前の市場レベルにおける承認、登録プロセスのいずれかの段階にあります。
7 対象となる製品とは、適用除外品（ネスレ ニュートリション、ネスレ ヘルスサイエンス、ネスレ プロフェショナル、ネスレ ピュリナペットケア、（ミルクや砂糖などを加えていない）コーヒー、紅茶、水、ギフト用菓子、料理用調味料と卓上調味料、4歳未満の子ども向け製品など、その他の法的規制の対象となり規制で認められないもの）を除きます。
8 顧客の50%以上が18歳未満であり、かつその内訳として10代が子どもよりも多い製品。
9 人（ペット以外）が日常的に多量摂取するカロリーのある製品で、パッケージにGDA表示が可能なスペースがあるもの。
10 製品ウェブサイト数が2014年に製品ライン数を超え、より幅広いデータを提供しています。

栄養

私たちのコミットメント

ポーションガイダンス(1食分を知らせるさまざまな工夫)を提示

私たちの目標

2015年までに、子ども向け[5]および家族向け[8]のすべての製品でポーションガイダンスを実施し、健康的な摂取量を推奨すること。

私たちの進捗状況

2014年末までに、子ども向け[5]および家族向け[8]の製品のおよそ30.2%にポーションガイダンスを導入しました。

私たちの視点

ネスレ ポーションガイダンス[11]は、推奨される栄養情報と消費者にとってわかりやすい情報のギャップを埋めるための自主的な取り組みで、ポーションサイズ(1食分の量)に対する意識向上を図ります。この取り組みは、とりわけ習慣的にサービング量が増加しがちな高カロリー食品のポーションに対する見方を変えてもらうことを目的とします。

実用的なポーションガイダンスをパッケージ上に表示することで、消費者がサイズや頻度から直感的にポーションサイズを判断できることを目指します。

ポーションサイズに対する見方を変えてもらうことは、多くのさまざまな困難を伴う複雑な問題であり、革新的な解決策や、栄養学、教育、産業界の専門家間の協力が必要です。

また、認識にかかわる課題もあります。ある製品のポーションサイズを減らすよう消費者に訴えることは、文化の変化を伴う場合があり、浸透に時間がかかります。そして、健康的なポーションサイズの普及で業界をリードするというネスレの意欲について、ステークホルダーの信頼や理解を得る必要があります。

ポーションガイダンス
ネスレ ピザ ポーションガイドは、ピザをバランスのとれた食事に組み込むための栄養情報やアイデアを提供します。

私たちのコミットメント

健康的な食生活、ライフスタイル、運動を推進

私たちの目標

2015年までに、「ネスレ ヘルシーキッズ グローバルプログラム」を80カ国で導入し、国際陸上競技連盟(IAAF)のキッズアスレチックスプログラムを推進し、世界中の子どもたちの栄養・健康・ウエルネスを改善すること。

私たちの進捗状況

2014年末までに、73カ国で294の団体と積極的に協力し、「ヘルシーキッズ プログラム」を実施しました(2013年は68カ国)。合計77の「ヘルシーキッズ プログラム」のうち67プログラムに運動要素が含まれており、その主な協力団体がIAAFです(15ページのケーススタディーを参照)。2014年だけで760万人以上の子どもたちが参加しました(2013年は690万人)。

私たちの視点

健康的な食生活とライフスタイルに対する行動変容を推進することは世界的な課題です。ネスレは、若年層に対してバランスのとれた食生活や定期的な運動の重要性を説いています。私たちは、食事や運動がどのように健康とウエルネスを改善するかを示す取り組みを支援しており、地域の学校コミュニティの健康に貢献する科学的根拠に基づいた影響力のある取り組みを開発中です。

長期的な「ヘルシーキッズ グローバルプログラム」の効果を効率的に測定することを優先的に取り組んでいますが、時には困難も伴います。持続的な成功には、質の高いパートナーシップや、学校で栄養教育と運動を提供できる教育体制が整っていることが前提となるため、持続可能な成功は難しい課題です。ネスレは、子どもたちの成長と学習能力に重要な適切な栄養摂取と運動習慣を取り入れてもらうため、世界各国の政府を支援します。ネスレは協力団体と共に、栄養と健康が子どもの成長にとって重要であるという意識を学校全体の取り組みとして推進していく必要があります。

2014年、**73カ国、760万人以上**の子どもたちが「ネスレ ヘルシーキッズ グローバルプログラム」に参加しました。

オーストラリアの子どもたちの身体運動をサポート

2014年4月、アスレチック・オーストラリアが「IAAF ネスレ ヘルシーアクティブキッズ アスレチックス」を開始し、若者の参加を促しています。この試験的プログラムが国の放課後学童保育制度を通じてオーストラリアの子どもたちに提供される予定で、オーストラリアとアメリカのプログラム提唱者が運営するスポーツクリニックに100人以上の子どもたちが参加しました。

私たちのコミットメント

健康的な生活習慣の一部として、健康的な水分補給を推進

私たちの目標

2014年までに、世界中の医療専門家、介護者、保護者を対象にした、事実に基づく健康的な水分補給の意識向上プログラムをさらに実施し、健康的な水分補給を促すため水の効能について詳しい情報を提供すること。

私たちの進捗状況

2014年、メキシコで実施された国民栄養調査のデータを分析し、1歳から18歳までの子どもの水の総摂取量を推定しました。論文審査のある学術誌に掲載されたこの分析結果によると、アメリカ医学研究所が推奨する1日に必要な水の摂取量を満たしていませんでした。エジプトで実施された同様の調査についても公開準備中です。

ネスレは、特にアメリカやトルコでのキャンペーンを通じて、健康的な水分補給に対する意識向上に継続して取り組んでいます。健康的な水分補給は現在「ネスレ ヘルシーキッズ グローバルプログラム」に不可欠なものです。ネスレ ウォーターズは、ナイジェリア、ヨルダン、中国では国家的プログラムを通じて、世界的にも国連世界水の日イベント期間中に、健康的な水分補給に関するプロジェクトWET(水に関する世界規模の教育プログラム)の対象を拡大しました。2014年、国連世界水の日イベントで、ネスレは2万人以上の子どもたちに健康的な水分補給の利点について教育しました。

健康的な生活習慣の一部として、健康的な水分補給の推進を引き続き継続します。2014年の目標を達成した今、私たちはネスレの各市場やステークホルダーと協力して2015年以降の目標を検討中です。2015年以降の目標については、来年の報告書でお知らせします。

私たちの視点

飲み物は、食物や運動の頻度と同様に健康的な生活習慣にとって重要です。毎日の水分補給源としては、カロリー総量に影響しない水(水道水やボトル入り飲料水)を選ぶべきです。

健康的な水分補給は小さい頃からの習慣だと考えますが、4カ国で実施した私たちの調査によると、子どもの3分の2が登校時の水分補給が十分でないことがわかりました。ネスレは、子どもたちが健康的な水分補給の利点について学ぶためのツールや情報を教師、保護者と教育者を含む子どもの健康にかかわるステークホルダーに提供します。

ネスレ ウォーターズの「ドリンクベター、リブベター」プログラム

ネスレ ウォーターズは、「パートナーシップ・フォー・ヘルシア・アメリカ」による「ドリンクアップ」の取り組みを支援します。これは、水の摂取を奨励するプログラムです。「ネスレ ピュアライフ」は、ボトル入り飲料水製品、トラック、広告、ソーシャルメディアで、英語とスペイン語の両方を使ってこのパートナーシップについてコミュニケーションしました。ネスレウォーターズはまた、「ドリンクベター、リブベター」プログラムを立ち上げました。これは、集めたポイントでさまざまな賞品が当たる、家族全員が楽しみながら水を飲むことができるプログラムです。

5　顧客の50%以上が12歳未満か、この年齢層を対象にしていると捉えられる製品。
8　顧客の20%以上かつ50%未満が18歳未満の製品。
11　ネスレは、単純な摂取量と区別し、消費者と結び付いたパッケージ上の指針としてポーションガイダンスを使用します。

栄養

私たちのコミットメント

適切な栄養摂取と食事のために、教育プログラムを実施

私たちの目標

親や保護者が健康的な子どもを育てられるよう支援し、医療専門家に対しては将来世代に栄養面で大きな影響を与えられるよう支援すること。

推進中 – 低栄養と栄養過多の問題に対応する医療専門家向けの栄養教育サービスとプログラムを提供(ネスレ ニュートリション インスティテュート)。

推進中 – 初めの1,000日(母親の妊娠期から子どもが2歳の誕生日を迎えるまで)の重要性に焦点を当てた、親と保護者向けの科学的で実際的な栄養教育を提供しています。これには、人生最良のスタートのための妊娠中の母体の栄養や乳児に最適な母乳栄養の推進などが含まれます(ネスレの「スタートヘルシー、ステイヘルシー」)。

2015年までに、ネスレ ニュートリション インスティテュートが、9カ国語によるオンライン教育サービスを通して100万人以上の医療専門家とコンタクトすること。

2015年までに、ネスレの「スタートヘルシー、ステイヘルシー」を、多言語オンライン栄養教育サービスを通して世界規模で500万人以上の母親と保護者に届けること。

私たちの進捗状況

ネスレ ニュートリション インスティテュート(NNI)は、195カ国の医療専門家に教育サービスを提供しています。その教育ウェブサイトには24万3,000人を超える医療専門家が会員登録をしています。栄養情報を出版する世界最大の民間組織として、会員であればNNIのウェブサイトから3,000件を超える出版物を無料でダウンロードできます。

1981年の設立以来、NNIは85の国際栄養ワークショップと700を超えるオンライン会議を開催し、発展途上地域の若い医師を対象に年間8～10件の研究奨学金を支給しています。2014年はNNIのワークショップをインターネットで生中継し、前年比10倍以上の医療専門家が参加しました。

ネスレの「スタートヘルシー、ステイヘルシー」は、新たな対話式の科学的な教育プログラムであり、きわめて重要な人生の初めの1,000日に母親や保護者が栄養面と成長面で適切な栄養を与えられるよう支援します。

私たちの視点

ネスレは、栄養に関する専門知識と消費者についての深い理解を共有し、社会に利益をもたらす責任があると考えます。とりわけ、人生の初めの1,000日において栄養を通じて健康を促進することを重視します。例えば、妊娠中の栄養不足は胎児の発育と認知機能に影響を与え、小児罹患率や死亡率を高めます。低年齢で栄養失調になった子どもは身体や認知能力を十分に発達させることができず、晩年に健康を害するリスクが高まります。

ネスレの教育プログラムは、初めの1,000日の正しい習慣に熱心に取り組む人々を対象としており、親や保護者が健康的な子どもを育てられるよう支援し、医療専門家に対しては将来世代の栄養面に大きな影響を与えられるよう支援します。

ここでの課題は、科学と公衆衛生分野での利害の対立を克服することです。ネスレは、科学研究と教育プログラムの協力、実施、普及において、透明性、科学的な厳密さと倫理基準を最高レベルで維持することにより、この課題に取り組んでいます。

「ESPHGAN、アフリカへ」

世界中の地域に貢献するネスレのプログラムをできる限り多くの人に利用してもらうため、ネスレはヨーロッパ小児栄養消化器肝臓栄養学会(ESPHGAN)に教育助成金を拠出し、アフリカの小児科医向け消化器病学と栄養学のディプロマコースの運営を支援しています。2012年以降、アフリカ18カ国の87人の医師が研修を受けており、2015年にはさらに30人の医師が研修を受ける予定です。少なくとも必要な人数の消化器病学と栄養学専門の小児科医を養成し、これらの医師たちが自分たちの知識を他の人にも伝達することを目指します。

私たちのコミットメント

子ども向けに責任あるマーケティングコミュニケーションを実施

私たちの目標

2015年までに、子ども向けマーケティングコミュニケーション方針を強化すること。

私たちの進捗状況

2002年の「コーポレートコミュニケーション方針」の策定、2008年の「子ども向けマーケティングコミュニケーション方針」の導入以来、ネスレは世界中で子ども向けの責任ある広告とマーケティング基準を順守しています。ネスレは、国際バイオセーフティ学会連盟(IFBA)のコミットメント[12]やEUや現地の広告基準を守っています。2014年、12歳未満の子ども向けのネスレによるテレビ広告の99.92%が責任あるマーケティング方針[13]を順守しました(2013年は98.3%)。

ネスレの「子ども向けマーケティング方針」は、6歳未満の子ども向けにマーケティングコミュニケーションをしないことを掲げています。2015年12月以降、6歳から12歳までの子ども向けの直接的なマーケティングコミュニケーションは、EU栄養基準を満たしている製品、あるいはEU基準が採用されていない場合は「ネスレ栄養基盤」を順守している製品に限定しています。順守する基準にかかわらず、ネスレは、ビスケット、砂糖菓子、チョコレート菓子製品について、子ども向けにマーケティングコミュニケーションを一切行いません[14]。この方針の対象となるメディアチャネルは、テレビ、ラジオ、出版、映画、デジタルメディア、モバイル、ゲーム、消費者関係マーケティング、バイラルマーケティング、アプリ、電子メール・SMS、ネスレのウェブサイト、映画タイアップ、プロモーション、競技会、製品スポンサー、イベント、試食会などです。新たな方針に合わせ、ネスレは12歳未満の子どもに向けたマーケティングコミュニケーションの“アピール度”を定義する定性的基準を策定しました。

常に効果的に実施するため、詳細な社内ガイドラインを策定し、ネスレの報告システム‘Tell us’を通じて外部のステークホルダーの皆さまからのフィードバックを受け付けています(32ページ参照)。

私たちの視点

学校でのマーケティングコミュニケーションを段階的に廃止する一方、「ネスレ ミロ」スポーツ振興プログラムなどのように、特に子どもの発達に良い影響を与え、運動量を増やすという政府目標を支援する健康とウエルネス教育活動を強化します。

私たちのコミットメント

責任を持って母乳代替品を販売

私たちの目標

推進中 – 人生の初めの1,000日に適切な栄養摂取と母乳育児を推進する既存の取り組みの一環として、母乳代替品の責任あるマーケティングについて進捗を公表すること。

2014年までに、新規に取得したワイス インファントニュートリション(乳児用調製粉乳事業)がFTSE4Good指標の基準を満たすこと。

2015年までに、ネスレ インファントニュートリションとワイス インファントニュートリションの両事業がFTSE4Good指標の母乳代替品基準を常に満たせるよう取り組みを継続的に強化すること。

私たちの進捗状況

ネスレは2011年以降、152の高リスク国における12カ月以下の乳児向け母乳代替品のマーケティングについて、厳格な基準を持つ唯一のグローバルな投資指数であるFTSE4Good指数に登録されています。ワイス インファントニュートリション事業は、現在FTSE4Good母乳代替品のマーケティング基準の要件に準拠した方針や手順を採用しています。

2014年、私たちの活動は39カ国で内部監査員による監査、4カ国で外部監査員による監査を受けました[15]。

これらの、また前年度までの推奨事項をもとに、ネスレは国内法令とWHOコードの履行に関するネスレの方針およびインストラクションを順守するために、第三者である販売業者へのトレーニングや要件を強化しました。また、'Tell us'システムを通じて、主に外部ステークホルダーによる懸念事項の報告に向けた体制を強化しました(32ページ参照)。

私たちの視点

乳児には母乳が最適であるという考えから、ネスレは母乳育児を推進しています。しかし、母乳育児にはいまだ数々の障壁があります。母親や家族が医療従事者と相談した結果、最適な母乳育児が不可能と判断された場合は、WHOに認められた唯一の母乳代替品である乳児用調製粉乳が、乳児に必須栄養素を提供する重要な役割を果たします。ネスレは、母乳代替品の責任あるマーケティングに関して、最も厳しい基準を採用し、各国政府が履行するWHOコードとWHOコードの履行に関するネスレの方針およびインストラクションを順守します。ネスレは、取り組みを監視するため最も厳格な方針と体制を設けることを宣言します。これからも引き続き改善していけるように、ステークホルダーの皆さまからのコメントをお待ちしています。2015年、ネスレは母乳育児をする社員を支援する環境づくりに取り組みます。また、主要なステークホルダーを継続的に巻き込んで協力を強化し、責任ある行動を推進し、母乳代替品の製品化を評価するための正当な基準を確立します。

インドで「スーパーベイビーズ」が母乳育児の利点をアピール

2014年8月の世界母乳育児週間で、ネスレインドは母乳育児の重要性を訴えるソーシャルメディアキャンペーンを実施しました。アニメ化したラップ調の「スーパーベイビーズ」が登場する2014年のキャンペーンでは、母乳育児に賛同する声が、前年の50万件を超えることを目指しました。母乳育児の利点についての議論を通じて大衆を巻き込み、一般市民の支持を集めて行動に移してもらおうという試みでした。2014年末までに、「スーパーベイビーズ」の動画は200万回以上視聴されました。

12 国際食品飲料アライアンスの子ども向け広告とマーケティングコミュニケーションに関するグローバル方針。
13 この割合は、2011年9月に再定義された子どもの視聴者が35%以上という厳しい基準に対するネスレの通年のコンプライアンス割合を示しています。
14 6歳から12歳の子どもに向けのマーケティングコミュニケーションとみなされるのは、メディアチャネルの視聴者の35%以上がその年齢層になる場合です。さらに、マーケティングコミュニケーションのチャネル、内容と全体的な印象も考慮します。
15 ネスレの既存の取り組みとして、新たに獲得した事業の内部監査は、獲得後に方針や慣行が統合されるまでの時間を考慮して若干変更しました。ワイス ニュートリションは、2015年度以降に標準の監査サイクルに組み込まれます。

農業・地域開発

ネスレ製品には、安全で長期的な原料供給が前提にあります。ネスレは、これらの原料が責任を持って確実に生産されることを望んでいます。
ネスレの原材料がどこでどのように生産されているかを理解し、事業活動を現地の優先事項と調整することによって、農業・地域開発、児童労働の根絶、農作業の改善推進といった重要な課題に取り組むことができます。

私たちはすべての目標を、提示した年の12月31日までに達成することを目指します。

私たちのコミットメント

農家のニーズを理解するために「農業・地域開発の枠組み」を実施

私たちの目標

ネスレの「農業・地域開発の枠組み」[16]により農家や農村部のニーズを把握し、より効果的な投資を実施すること。

2015年までに、明白な社会的ニーズがある、ネスレ事業にとって重要な国々で、基礎評価を継続し、ネスレの事業活動と現地コミュニティの優先事項の調整に役立てること。

私たちの進捗状況

2013年、中国とベトナムにおけるネスレのコーヒープログラム、コートジボワールにおけるコーヒー、カカオ、キャッサバイモの調達で「農業・地域開発の枠組み」を試験的に実施しました。現状を理解し、適切な改善策を設計するため基礎評価を実施しました。2014年7月に公表された評価結果で共通していたのは、不十分な資源管理、上水、衛生、栄養へのアクセスが脆弱な点でした。土地所有権、女性の地位、農学知識にかかわる問題が挙がるケースもありました。

2014年4月に人権や農業・地域開発の手法に関するステークホルダーのフィードバックをもとに、私たちは手法を調整し、メキシコ、コロンビア、ケニア、エチオピア、インドネシア、フィリピンで取り組みを開始しました。すでに各国の事業計画に組み込まれている評価結果がある一方、取り組みを調整し重複を避けるためパートナー、地域社会、政府機関とさらなる議論が必要なものもあります。

私たちの視点

ネスレは世界中の何百万もの農家から原材料となる農産物を調達しており、世界の農業コミュニティと大きな利害関係を持っています。ネスレ事業の継続的成功に不可欠な農家ですが、世界中で農業従事者が高齢化し、都市部へ移住する人が増えています。ネスレの「農業・地域開発の枠組み」は、ネスレの事業活動と地域開発の優先事項の調整に役立ちます。農業従事者が資金援助を受けられるようサポートするだけでなく、ネスレの「農業起業家精神」モデルは、農業従事者がスキルを向上するための研修手段を提供します。

しかし、ネスレのサプライチェーンだけでは、居住地、勤務地、投資先として農業地域の魅力を高めることはできません。農業地域の人々には、クリーンエネルギー、銀行、金融、医療、通信、その他の社会基盤へのアクセスが必要です。ネスレは、持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）および会員企業と協力し、いかに異業種が協調して農業地域へ投資を集中するか検討しています。ネスレはまた、多くのコミュニティにとって栄養状況がいまだ大きな課題であることを認識しています。現時点では、ネスレの「農業・地域開発の枠組み」はこの点に十分対応できているとは言えないかもしれません。

中国での酪農分野開発

ネスレは、1987年に中国の双城区に自社工場を建設しました。2012年に牛乳のサプライチェーンの持続可能性を改善する必要性を認識し、ネスレ酪農業研究所の設立に尽力しました。農家の知識やスキルの向上の支援は、ネスレの農業・地域開発戦略の重点分野です。ベストプラクティスを採用することにより、農家は生産性、取引関係、原価管理を改善することができます。本研究所は3つの試験酪農場から構成されます。農場所有者と労働者が農場管理スキル向上のための研修に参加し、最新技術の利用方法や事業拡張の実務的な経験を習得します。2014年、本研究所は酪農場管理や乳牛の繁殖に関する研修プログラムを開始しました。

主要サプライヤー1万社のうち8,700社に監査を実施したところ、そのうち**73%**が「ネスレ サプライヤー規約」を完全に順守していました。

私たちのコミットメント

サプライチェーンにおける責任ある調達を実施

私たちの目標

2015年までに、「ネスレ サプライヤー規約」の順守状況の改善と証明、1万件の責任ある調達の監査の完了とその70%が完全なコンプライアンス順守であること。

2015年までに、12の主要なカテゴリー(パーム油/大豆/砂糖/紙パルプ/コーヒー/カカオ/乳製品/魚、シーフード/シアバター/バニラ/ヘーゼルナッツ/畜肉、家禽肉、卵)の取り扱い量の40%が追跡可能であること。

私たちの進捗状況

2014年末までに、主要サプライヤー1万社のうち8,700社に監査を実施したところ(2013年は6,500社)、その73%が「ネスレ サプライヤー規約」を完全に順守していました。2015年はさらに1,300件の監査を計画しています。2015年末までに1万件の監査を実施できた場合、ネスレの全費用の95%以上を占める原材料と包装資材サプライヤーの60%以上を網羅したことになります。

現在、ネスレの主要カテゴリーの購入量の38%が追跡可能であり(2013年は17%)、その原料供給にかかわるすべての農家(第三者が関与する場合も含む)がネスレまたはネスレのサプライヤーに認識、識別されています。さらに、28%(2013年は9%)が責任ある調達を実施しており、プランテーションや農場は責任ある調達ガイドラインの要件を順守しているか、改善計画が実施されているか、あるいは同等の認証制度を順守しています。

2014年に肉、乳製品、シアバター、魚に対して運用を始めましたが、2015年までにネスレの主要カテゴリーの購入量の40%が追跡可能となり、30%で責任ある調達を実施します。

私たちの視点

食品の産地や生産方法に関する情報に消費者やその他のステークホルダーの関心が高まるなか、責任ある調達はネスレの将来とネスレが依存する生産者、両方の将来にとって重要な投資です。

ネスレのサプライチェーンは複雑化しており、継続的に改善していくには全当事者が社会と環境問題に対応しなければなりません。ネスレは、効果的な農作業法の奨励と能力構築、知識共有および研修の取り組みを着実に推進し、サプライヤーをより高い持続可能性レベルまで引き上げています。

プロフォレストやフォレストトラストなどのNGOと協力して、砂糖、大豆、パーム油、紙のネスレのサプライチェーンを調査するとともに、動物保護に関する責任ある調達ガイドラインに照らして動物由来の原料のサプライヤーの評価、ネスレのサプライチェーンにおける森林伐採の阻止、児童労働への対応に積極的に取り組んでいます。

動物保護のグローバルパートナーシップ

2014年3月、ネスレは大手食品メーカーとして初めて、国際動物保護NGOのワールドアニマルプロテクションとグローバルパートナーシップを締結しました。ネスレは乳製品、卵、畜肉と家禽肉をさまざまな製品の原料に使用しており、ネスレのグローバルサプライチェーンにおけるファームウェルフェアのさらなる改善に取り組むと公言しています。このパートナーシップにより、ワールドアニマルプロテクションが持つ家畜の健康、世話、福祉の専門知識を共有できます。ネスレの責任ある調達活動を通じて、ワールドアニマルプロテクションがサプライヤーと深く関与し、食品業界内の適切な動物保護の実践を推進します。

16 これらの農業・地域開発に関するすべての活動を統括するために、「農業・地域開発に関する方針」に基づいた枠組みが作られており、これは連携、協力、擁護の精神で支えられる3つの柱「農家の成功」、「農場労働者の生産性と尊厳」、「コミュニティの繁栄」で構成されています。

農業・地域開発

私たちのコミットメント

カカオ農家と共に「ネスレ カカオプラン」を実施

私たちの目標

「ネスレ カカオプラン」を通して、カカオ農家の生活とネスレが購入するカカオの品質を改善すること。

2015年までに、「ネスレ カカオプラン」を通じて10万トンのカカオを調達すること。

2016年までに、「ネスレ カカオプラン」を通じて12万トンのカカオを調達すること。ネスレの児童労働モニタリングと改善要請の仕組みシステムを完了させ、コートジボワールにおけるすべての「ネスレ カカオプラン」農業協同組合での児童労働を見つけること。

2017年までに、「ネスレ カカオプラン」を通じて15万トンのカカオを調達すること。

私たちの進捗状況

2014年、ネスレは「ネスレ カカオプラン」を通じて91,801トンのカカオを購入しました（2013年は62,299トン）。45,833世帯のカカオ農家（2013年は33,885世帯）に研修を実施し、17の学校の校舎を建設または改修し（2013年は13校）、4年間で40校を建設、改修するという目標を達成しました。

2014年8月、公正労働協会（FLA）はコートジボワールにおけるネスレのカカオサプライチェーンに関して第1回報告書を公表、FLAの行動規範を順守するためにはどの領域でさらなる活動が必要であるかを明確にしました。以来、私たちは児童労働モニタリングと改善要請システムを拡張し、コートジボワールの農業協同組合をさらに14団体追加し（2013年は8団体）、累積合計は22団体になりました。危険な状況にある子どもたちを把握し、開かれた透明性の高い手法でカカオ農家とかかわり合うことができるよう、農家の中から地域の連絡担当者を選出しています。ネスレは、2016年末までに67のすべての「ネスレ カカオプラン」農業協同組合を対象に含めるようこの取り組みを拡張する予定です。

ネスレの農産物サプライチェーンにおける児童労働問題の取り組み、主要分野のサプライチェーンにおける課題への対応の行動計画についての詳細は、31ページの児童労働への取り組みをご覧ください。

私たちの視点

「ネスレ カカオプラン」は、農家に収益をもたらす農業の実現、社会的条件の改善、高品質で持続可能なカカオの調達という3つの柱で構成されています。強い品種の提供や、農作業の改善について農家に研修を実施し、長期的な収益性とサステナビリティの向上を支援します。ネスレのサプライチェーンにかかわる女性向けの教育や支援を充実させることで、社会的条件が改善され、児童労働のリスクが低減します。ネスレはコートジボワールの最大のカカオ購入者の一つであり、67のカカオ農業協同組合と提携しています。ネスレの児童労働モニタリングと改善要請システムによりコートジボワールのカカオ農産業における児童労働の規模や原因が明らかになりつつあり、家族や地域のニーズを満たすために、ネスレとネスレのパートナーが問題に取り組みやすくなっています。

ベネズエラの「ネスレ カカオプラン」

ベネズエラでは、世界最高品質のカカオの安定供給を確保する上で多くの課題に直面しています。原産カカオ樹木の品質低下、若い世代に農業が魅力に欠ける点などです。しかし、ネスレは「ネスレ カカオプラン」を通じて、カカオ生産が高収入やよりよい社会的条件につながる生計手段としての選択肢となるよう支援しています。

ベネズエラにおける3つの主要なカカオ生産地域の600の農家が、現在「ネスレ カカオプラン」に参画しています。そして2008年以来、ネスレベネズエラのスタッフは対象農家を6,130回ほど訪問し、高品質の苗木と有機肥料の配布、技術支援の提供、収穫高を増やし、病気の拡散を防ぐ剪定などの効果的な農作業法についての研修を実施しました。私たちの試験農場で収穫したさやの数は、1ヘクタールあたり878 kgから1,500 kgと増加しました。

2014年、責任ある調達で
「ネスカフェ」は**412,538トン**の
コーヒーを調達しました。

私たちのコミットメント

コーヒー農家と共に「ネスカフェ プラン」を実施

私たちの目標

2015年までに、ネスレのコーヒーサプライチェーンの持続可能性を改善させるため、ファーマーコネクト[17]から18万トンのコーヒーを調達すること。そして、調達したコーヒーのすべてが4C(コーヒーコミュニティの共通規約)[18]を基本とするサステナビリティ基準を100%順守していること。

2020年までに、ネスレのコーヒーサプライチェーンの品質、数量、持続可能性を改善させるため、2億2,000万本のコーヒー苗木[19]を配布、9万トンの「ネスレ持続可能な農業イニシアチブ」[20]準拠コーヒーを調達すること。

私たちの進捗状況

2014年「ネスカフェ プラン」を現在運用している14カ国でさらなる浸透を図りました。また、水、コーヒー、農業・地域開発に関するイニシアチブを通じてベトナムとコロンビアで対象範囲を拡大しました。

2014年末までに、「ネスカフェ」は直接ファーマーコネクト[17]を通じて171,900農家からおよそ186,750トンのコーヒーを調達しました(2013年は176,040農家)。そのうち、130,500トン(つまり70%)が4C(コーヒーコミュニティの共通規約)に準拠しています(2013年は71,493トン、48%)。

責任ある調達で仕入れたコーヒーの総量は412,538トンに増加しました(2013年は366,270トン)。

また、2014年には収穫量が多く病気に強い2,980万本以上のコーヒー苗木を農家に配布(2013年は2,140万本)し、累積総数は7,380万本になりました。

私たちの視点

ネスレの主なコーヒーブランドにふさわしい品質と数量の長期的な調達は、コーヒー栽培の持続可能性にかかっています。大多数が小規模事業者であるコーヒー農家の生活にとっては、木の老化、苗木の病気、収穫量低下、価格変動、気候変動などは脅威の一部でしかありません。

また、コーヒー栽培は生産者がより収益性が高いと考える代替作物に取って代わられつつあります。

ネスレは、効率的な販売経路、現地での研修、苗木の繁殖や配布、300名以上の農学者チームによる技術支援などを提供、農家がより安定した事業構築できるよう支援しています。

ポジティブ カップ

「ネスカフェ プラン」活動に加えて、2014年8月にネスレネスプレッソは'ポジティブカップ'という新たなサステナビリティ戦略を発表しました。これは、今後6年間に農家の生活改善と、コーヒーの調達と消費における環境持続可能性の推進を目指すものです。コーヒーの調達と社会福祉、アルミニウムの調達、使用と廃棄、そして気候変動対策といった分野で掲げた高い目標を達成するため、ネスレが実施する対策を打ち出しています。過去11年間のネスレネスプレッソの成果をもとに、「ネスプレッソ グラン クリュ」ブランドの定番品の100%を、エチオピア、ケニア、南スーダンでのコーヒー農家コミュニティの経済的、社会的発展への投資を含むネスレネスプレッソ「AAAサステイナブルクオリティ」プログラムを通じて調達します。

17 農家から直接調達するプログラムにより、私たちは原料の現地調達を行いつつ、厳格な調達基準を満たすために技術的支援を提供し、協力体制を整えています。
18 コーヒーコミュニティの共通規約(4C)アソシエーションはさまざまなステークホルダーによって構成されており、会員はコーヒーのサプライチェーンに関与する生産者、市民団体や企業など、コーヒー産業に携わる人々です。
19 数字は2010〜2020年までの累積です。
20 持続可能な農業における主要な環境保全団体による国際的な協会で、環境保護、社会的責任、経済的活力に関する基準があります。

水資源

水はいかなる物質よりも人間の生存に不可欠であり、水に代わるものはありません。安全で新鮮な水の需要と供給のギャップは広がっており、何の対策もとられなければ、2030年までに水の消費量が可能取水量を40%上回ると予想されています。すべての人にとって、そしてネスレ事業の将来にとって、責任あるウォーター・スチュワードシップが非常に重要です。ネスレは水と公衆衛生に対する人権を尊重します。そして、集水地域の持続可能な管理推進を支援します。集水地域はネスレ製品の調達元であり、工場所在地であり、サプライヤーや消費者が生活する場所でもあるからです。

ⓘ 私たちはすべての目標を、提示した年の12月31日までに達成することを目指します。

私たちのコミットメント

事業全体における水の利用効率とサステナビリティの向上に向けた取り組み

私たちの目標

天然水資源と、その水資源を支える地域に対してネスレ事業が与える影響を最小限にすること。

2015年までに、全製品カテゴリーで製品1トンあたりの直接取水量を2005年と比較して全体で40%削減すること。

2015年までに、水資源と公衆衛生に対する人権への適切な配慮のため詳細なガイドラインを策定し、実施すること。

2016年までに、ウォーター・スチュワードシップの取り組みを定義し、5つの重点地域で実施すること。

2016年までに、優先順位の高い製造施設の100%で節水プロジェクトを実施すること。

2016年までに、選定された製造施設とすべての新規工場建設地域において、ウォーター・リソース・レビューを新たに45件実施すること。

私たちの進捗状況

ネスレのウォーター・スチュワードシップへの取り組み（2013年）に合わせて、ネスレ事業で使用する水の削減、再利用とリサイクルを実現する新たな機会を積極的に模索しています。世界規模で全社的に「ウォーター・スチュワードシップ・マスタープラン」を導入、主要市場の現地マスタープラン策定をパキスタンで着手しました（2014年）。このプランには、責任範囲、目標、改善に向けた期限を文書で設定します。

今日、ネスレ工場で376を超える節水プロジェクトを実行中で、およそ184万m^3の水を節約できる見込みです。2014年、製品1トンあたりの直接取水量を6%削減しました（2005年以降37%削減）。

水ストレスが深刻となっている、あるいはネスレが取水量の大部分を占めている地域で優先度の高い31の製造施設を特定し、優先付けしました。2014年末までに、これら施設の42%で取水量を削減し、効率性を改善しました（2013年のレベルと比較）。ネスレの工場敷地において、今年は18件の水資源検査を行い、地域のウォーター・スチュワードシップの取り組みを改善しました。このプロセスには水と公衆衛生（WASH）の懸念事項が反映されています。

私たちの視点

ステークホルダーの水資源問題への関心が高まっています。世界的な水不足の影響に対する意識向上を反映していると考えられ、ネスレはこの傾向を好意的に受け止めています。ネスレは、水の利用（ネスレによる水使用を含む）の議論が前向きな行動につながると確信しています。ネスレ工場の38%は水ストレスの高い地域に位置し、責任あるウォーター・スチュワードシップはネスレ事業とステークホルダーにとって常に重要な課題です。水資源検査を通じて、ネスレが事業展開する地域コミュニティの水と公衆衛生を得る権利への潜在的な影響を評価し、必要に応じた適切な是正措置がわかります。水と公衆衛生を得る権利はまた、ネスレの人権影響評価に体系的に組み込まれています。2014年末までに、133工場で水資源検査を実施しました。事業全体における水の利用効率とサステナビリティの向上に向けた取り組みを今後も続けます。

メキシコのセロアグア

今年、メキシコにネスレで最も水利用効率の良い工場が稼働しました。過去60年間の人口増加が原因となり、メキシコの1人あたりの水資源量が劇的に減少しました。水ストレスが高いハリスコ州にあるネスレのセロアグア乳業工場は、新工程を導入、現地取水量ゼロに向けて稼働しました。工場では牛乳の蒸発過程で発生する水蒸気を代替利用しています。この水は、濃縮、処理、再生後に飲用可能なプロセス水として利用、冷却や洗浄に再利用されます。1日に約160万リットルの水が節約できます。これは周辺地域に住む6,400人による1日の平均水消費量に匹敵します[21]。私たちはこの工程をネスレ南アフリカなどの拠点でも導入中で、ネスレ5カ年投資計画にはモーセルベイ乳業工場の取水量ゼロへの変更を盛り込んでいます。

2005年に比べ、製品1トンあたりの排水量を**52%**削減

私たちのコミットメント

効果的な水資源利用方針とウォーター・スチュワードシップを推進

私たちの目標

世界中と地域の両方で、産業などによる持続可能な水利用を促す水利用に関する方針と管理を推進すること。

2016年までに、2030ウォーターリソースグループ官民パートナーシップ構築に引き続き取り組み、年間2カ国を追加、グッドプラクティス・グローバルカタログ[22]を制作し、公表すること。

2016年までに、水と公衆衛生に対する人権に関する企業のグッドプラクティスのCEOウォーターマンデートガイドの発行を支援し、特定市場[23]で水資源の適切な配慮について本ガイドを試験的に実施すること。

2016年までに、持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）を支援し、WASH宣言[24]への加盟企業50社を達成すること。

2016年までに、アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ（AWS）による国際ウォーター・スチュワードシップ基準の導入プロセスを開始、5カ所以上の拠点で実施[22]すること。

2016年までに、「持続可能な農業イニシアチブ（SAI）」プラットフォームおよび「持続可能なフードラボ（SFL）」と協力し、水のリスクアセスメントと軽減に関する共同イニシアチブを、原材料となる農産物の調達地域1カ所以上で実施[25]すること。

私たちの進捗状況

ネスレは、水資源の方針やスチュワードシップで注目される取り組みの実施において強い存在感を維持し、ベストプラクティスを改善する機会を促進します。会長を含めネスレの経営陣の多くは、2030ウォーターリソースグループ（2030 WRG）で主導的な役割を果たしています。現在、ネスレがこの官民、市民社会の協力体制の議長を務めており、水ストレスの高い開発途上国の水資源改革のための実務的な解決策の実現を模索しています。WRGはペルーとタンザニアで誘致を受けており、バングラデシュ、ケニア、レバノンといった他の国についても検討中です。

2014年7月、国際基準ISO 14046:2014環境マネジメント（ウォーター・フットプリント）原則、要求事項、ガイドラインが発行されました。これは、90人以上の専門家による5年にわたる協力の成果であり、ネスレはワーキンググループの一員として活発に参加しました。

ネスレは、2014年9月発行のCEOウォーターマンデート一般公開ガイドラインの支援を続け、ネスレの事業運営にとどまらずWBCSD宣言を推進し、国際舞台で積極的なWASHアンバサダーとして活動します。

ネスレの主要拠点でのウォーター・スチュワードシップを強化するため、AWS国際ウォーター・スチュワードシップ基準（AWS基準）に関する社内指針を策定しました。2015年はさらに広範囲の導入を計画しています。

私たちの視点

私たちは、増加し続ける世界人口に安全な水と食料を供給するという喫緊の課題に直面しています。課題に取り組むには、協力や共通目標が必要です。ネスレは、各国政府が水資源に対して体系的なアプローチを採用すべきだと考えます。各国政府は強固なリーダーシップを発揮し、自己中心的に行動するのではなく、政治公約に対して説明責任を果たさねばなりません。また、特に水の安全、公衆衛生と貧困といった分野で地域を基盤とした実現可能な解決策を策定するためには、各国政府は組織を強化し、（公的、民間両方の給水機構に対する）監督機関としての役割を果たし、費用対効果の高い解決策と水確保、給水、公衆衛生と水処理の効果的な管理を実現しなければなりません。ネスレは、効果的な水資源方針とウォーター・スチュワードシップを推進、支援したいと考えています。

ネスレの積極的なアプローチは、官民パートナーシップ、業界団体、NGO、研究機関がベストプラクティスを学び、共有する連携につながります。これを通じて実現できた成果は、ネスレのウェブサイトでオープンにお伝えしています。

カメルーンにあるネスレのドゥアラ工場でウォーター・スチュワードシップを推進

2014年、カメルーンで「マギー」のスープベースを生産するドゥアラ工場がウォーター・リソース・レビュー（WRR）を完了しました。WBCSDのWASHセルフアセスメントツールを使い、社員、業者、施設訪問者を含む500人以上を対象に、水と公衆衛生へのアクセスについて調査しました。本工場はWASH宣言全体を十分順守しているレベルにありますが、いくつかの改善を要する課題が明らかになり、行動計画を策定しました。2〜3キロメートル離れた地域の人々も、施設内の給水装置を所定時間中に自由に利用することができ、地元住民によって毎日約5,000リットルの水が使用されています。洪水リスクの低減と地域コミュニティの環境改善を目的とした、474,905スイスフラン規模の排水処理プロジェクトを新たに計画しています。

21　この数字は、1人1日あたりの平均水消費量を250リットルとして算出しています。出典:Tecnologías Alternativas y Ecodiseño
22　これはネスレの2014年の目標を継続したものです。
23　ガイドラインに貢献するという2014年の目標は達成されました。
24　ISO 14046:ウォーター・フットプリント、原則、条件、ガイドラインに貢献するという2014年の目標は達成されました。
25　特定の重点施設でAWS基準の原則をセルフアセスメントの目安として使用するという2014年の目標は達成されました。

水資源

私たちのコミットメント

適切な排水処理

私たちの目標

2016年までに、全工場で水質と排水に関して新たに強化された「ネスレ環境要求事項」を履行し、環境保護を支援すること。

私たちの進捗状況

2014年、改善された新規処理設備のために1,800万スイスフランの経費を計上し、新規排水処理施設の水質への要求事項を強化しました。

2014年末には、2005年比で製品1トンあたりの排水量を51.8%削減（2013年は48.5%）し、排水の水質平均は1リットルあたりCOD値72 mgでした（2013年は76 mg）。

私たちの視点

ネスレは、生物多様性と生態系サービスを保護しつつ事業発展に努めています。私たちは、2016年以降のネスレ工場の排水水質に関して高い目標を掲げ、この達成に挑戦します。進捗状況の把握のため、取水量、排水量、水質を測定する給排水計を設置、社員の研修や意識改善に優先的に取り組んでいます。ネスレは、可能な限り公共の排水処理施設を利用します。施設がない場合や不十分な場合は、自社設備に投資し、現地の法律と社内基準の両方もしくはいずれか厳しい方に基づき、排水処理をしています。

メタン発酵処理による排水処理

イギリスにあるネスレのファーデン菓子工場は嫌気性排水処理システムに490万スイスフランを投資しました。2014年9月に完成したこのシステムは、自然のメタン発酵処理プロセスを利用して固体と液体廃棄物を浄水とメタンガスに変換します。この施設により毎年1,000トンのCO_2削減、1日あたり4,000kgの固体廃棄物削減、排水量の95%減少を達成する見込みです。排水にかかる費用の削減額は380,000スイスフラン、電気代の削減額は600,000スイスフランです。

私たちのコミットメント

サプライヤー、特に農業関係と協力

私たちの目標

2015年までに、優先地域におけるコーヒー、砂糖、米や穀物のサプライチェーン上流における節水行動計画を策定し、導入すること。

私たちの進捗状況

ネスレの複雑な農産物サプライチェーンで水の利用効率を向上させることが私たちの最大の課題の一つです。ネスレは、「ネスレ持続可能な農業イニシアチブ」を通じて695,000の農家と直接取引しており、持続可能な開発の促進と農家への支援を行っています。このグローバルプログラムはさまざまなカテゴリーに焦点を当てており、干ばつや洪水への対処、排水や有機廃棄物の処理、農業強化手法など、水管理と灌漑における重要課題に対応しています。2014年は以下の支援を行いました。

- コロンビアにおける気候に適合したコーヒー区域の開発に向けた総合的水管理プロジェクト。
- 酪農場とネスレ工場での水の利用意識、利用効率と水質汚濁管理の改善に向けたウォーター・フットプリント方式のコロンビアでの適用。
- スペインにおけるウォーター・スチュワードシップ農業セミナー。
- ベトナムにおけるより少ない水でより多くのコーヒー豆を生産するための灌漑方法と水管理の一新。

私たちの視点

水は、集水地域のすべての利用者が影響を受ける共用資源です。ネスレが自社工場ではなく外部の取り組みに資源を投資する方が、集水地域の衛生状態の改善に最大効果が得られる場合があります。より効果的な農業技術を農家レベルで導入すれば水使用を大きく改善できる上、多額の投資も必要としません。また、世界的な大手サプライヤーと取引する事業者にとって、「持続可能な農業イニシアチブ」プラットフォームなどを通じて、集団としての影響力を行使し、水の利用効率改善を要求することができます。ネスレは、集水地域の全利用者の水の利用効率を改善する外部の共同取り組みに投資します。

私たちのコミットメント

水資源の保全意識を高め、バリューチェーンを通じた水へのアクセスと公衆衛生を改善

私たちの目標

2015年までに、ネスレの全社員が職場で適切な水準の安全な水、公衆衛生と衛生状態が確保できていること。

2016年までに、ネスレの製造施設近隣とファーマーコネクト地域で、地域コミュニティにおける35万人が水と衛生改善プロジェクトの利益を共有できること。

私たちの進捗状況

ネスレは水へのアクセスと公衆衛生の改善のため、持続可能な開発のための経済人会議（WBCSD）や国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）などの専門家と今後も連携を続けます（下記のケーススタディー参照）。2014年は以下のようなことに取り組みました。

- 主要な製造拠点でWBCSD セルフアセスメントWASHツールを試験導入しました。
- ネスレ製造施設近隣とファーマーコネクト地域でほぼ40万人分（2013年は30万人超）の水へのアクセスと衛生を確保しました。これは2016年の目標を早くも達成したことになります。

教育の取り組みを通じて、私たちは社員、サプライヤー、消費者の水保全とスチュワードシップの重要性について理解を深める支援をしています。サプライヤーにかかわる活動（24ページ参照）に加えて、2014年には以下のようなことに取り組みました。

- ネスレの人事チーム（117名）に新たな研修プログラムを実施、コース内容を全社員が利用できるよう社内ネットワークで公開しました。
- ネスレが主催するグローバルな水に関する教育プログラム「プロジェクトWET」を継続、対象をナイジェリアのオスン州にまで拡大しました。
- 世界水の日にちなみ、約650名の社員が参加して32カ国で22,000人を超える子どもたちのために工場イベントを開催しました。

私たちの視点

WHOによると、人は毎日の基本的なニーズを満たすために1日あたり50～100リットルの新鮮な水を必要とします。しかし現在では、WBCSDによると、18億人以上が安全でない飲料水に依存しており、40億人近くが基本的な公衆衛生を確保できていません[26]。安全な水へのアクセスと公衆衛生と衛生状態が保障できなければ、病気や死につながります。生産性が低下し、製品やサービスが市場に出回らなくなります。企業がこの状態に対処しリーダーシップを発揮しなければならないという明確で切迫した経済的理由がある、とネスレは考えます。昨年ネスレはWBCSD WASH宣言に初めて署名した企業の1社となり、3年以内にネスレ直轄の職場で安全な水へのアクセスと衛生を確保することを誓いました。この宣言への署名を通じてネスレは、取り組みを再宣言し、バリューチェーンにかかわる他社にも奨励しています。すべてのWBCSD会員企業がWASH宣言に署名すれば、1,500万人もの社員が参加することになります。

コートジボワールでの浄水と公衆衛生の改善

2006年以降、国際赤十字・赤新月社連盟とネスレは、農村コミュニティにおける水へのアクセスの改善に特に焦点を当てて協力しています。この協力で、コートジボワールのカカオ農家196,546人が、きれいな飲料水と公衆衛生施設を利用できるようになりました。

2014年10月、ネスレはIFRCとの長年の協力関係を新しくし、5年間にわたり500万スイスフランをIFRCに拠出、農村地域における持続可能な水へのアクセスと衛生サービスの改善、さらにはガーナへのプロジェクト拡張を目指しています。2002年にネスレはIFRC初のパートナー企業となりました。水と公衆衛生に関する既存の取り組みに加えて、IFRCの「世界災害年次報告書」の作成支援、国内赤十字・赤新月社連盟への協力、IFRCの災害派遣支援（2014年のエボラ出血熱など）にかかわっています。

26 www.wbcsd.org/work-program/sector-projects/water/accesswatersanitation.aspx

環境サステナビリティ

環境サステナビリティとは、水不足が進み、生物多様性が減少し、気候変動による悪影響を受ける可能性がある中で、正しい選択により未来を守ることです。私たちの目標は、ネスレ製品をおいしく健康的にするだけでなく、バリューチェーンを通して環境に配慮したものにすることです。環境サステナビリティとは、ネスレを信頼しネスレ製品をお楽しみいただく、もう一つの理由を提供することで、お客さまに喜んでいただくことと、ネスレの環境責任と取り組みについて社員や外部ステークホルダーの期待に応えることを意味します。

ⓘ 私たちはすべての目標を、提示した年の12月31日までに達成することを目指します。

私たちのコミットメント

事業における資源の利用効率を改善

私たちの目標

より少ない資源とより少ない廃棄物で、より多くの活動をし、天然資源を保護すること。

2015年までに、ネスレ工場の10%で廃棄物量ゼロを達成すること。

2015年までに、各製品カテゴリーで製品1トンあたりのエネルギー消費量を2005年と比較して25%削減すること。

私たちの進捗状況

2012年に目標として掲げた「2015年までの廃棄物量ゼロの工場の割合」を、2年早い2013年に達成しました（2013年は56工場、11%）[27]。この活動を2014年も継続して、ネスレ工場の15%（計72工場）で廃棄物ゼロを達成しました。

製品1トンあたりの全エネルギー消費量を2014年は2005年と比較して26%削減しました。これは2015年の目標を1%上回る結果で（2013年は23%）、すべての製品カテゴリーで削減を達成しています。

私たちの視点

効率や品質、生産性を改善することで、資源利用や廃棄物を削減し、より多くのことを実施できるようになります。廃棄物とは、エネルギー回収されることなく現場から離れたごみ処理場で最終処分されたり焼却されたりする、製造や流通の途中で生じる資材のことです。私たちの全体的な目標は、エネルギー回収されることなく処理や焼却される産業廃棄物がなくなるよう、廃棄物ゼロに向けて取り組み、残りの副産物の価値を最大限に高めることです。2014年には、工場が廃棄物ゼロを達成できる手助けとなるよう、新たなツールキットを導入しました。多くの国で、公共の廃棄物回収やリサイクルの基盤が整っていなかったり、現地規定によって特定の資材を埋め立て処理するように要求されたりするため、資源効率の改善にかかわる課題に直面しました。

事業における資源効率の改善は、バリューチェーンを通して食物廃棄を削減するという私たちの広範な取り組みに貢献します。2015年前半には、「ネスレの食品廃棄に関するコミットメント」を導入します。また私たちは、2015年に発行される世界資源研究所の食品ロスと廃棄を測定するためのプロトコル開発に積極的に貢献しています。

私たちのコミットメント

ネスレ製品パッケージの環境パフォーマンスを改善

私たちの目標

2017年までに、少なくとも100,000トンの包装資材を使用しないよう、パッケージポートフォリオの体系的な分析、最適化を継続すること。

私たちの進捗状況

パッケージの環境パフォーマンスを評価するツールPIQETから、バリューチェーン全体を網羅する広範な包括的アプローチである、持続可能な製品開発と発売のためのエコデザイン（エコデックス）へ移行し、パッケージのエコデザインのスコープをさらに広げます。

世界中でオンラインセミナーを8回実施し、参加した63名が各自の工場や市場でパッケージ専門のスタッフを育成することで、PIQETからエコデックスへの移行は順調に完了しました。

2014年には、包装資材の使用を7,740万スイスフランの節約に相当する45,805トン（2013年は66,594トン）削減しました。

私たちの視点

製品パッケージは、食品の劣化を防ぎ、ネスレの品質基準を保証して消費者に情報を提供するために不可欠です。ネスレはパッケージをデザインする際に、資材が環境に与える影響の評価に対して総体的に取り組んでいます。デザイン開発とリニューアルの過程では、重量と体積を最適化する一方でパフォーマンスや機能性も目指しています。

ネスレの課題は、包装資材を削減して食物廃棄を回避する最適なパッケージデザインを見出すことです。パッケージや製品パフォーマンスに要求されることを考え、持続可能な方法で管理されている再生可能な資源を用いた資材開発や使用を主導しています。

また、ネスレは使用済み包装資材のリサイクルやエネルギー回収への取り組みも支援し、環境的な利益をもたらし、適切と考えられる場合はリサイクル資材を使用します。

2014年に**45,805トン**の
包装資材を節約しました。

ネスレネスプレッソはアルミニウムのリサイクルや再使用を展開

ポジティブカップという新たなサステナビリティ戦略の一環として、ネスレネスプレッソは事業を行うあらゆる所で、すべての使用済みアルミニウムカプセルを回収しています。イギリスやフランスなどでは新しいカプセルへのリサイクルもしています。過去5年間の進捗状況を踏まえ、ネスレネスプレッソが利用しているアルミニウムカプセル資源の100%が、現在開発中の新アルミニウム・スチュワードシップ・イニシアチブ基準に準拠することに取り組んでいます。カプセルのリサイクルや再利用を保証するため、新たに参入した市場でもリサイクルプログラムを本格展開します。ネスレネスプレッソの回収ポイントは31カ国で14,000以上となり、15の市場では家庭収集サービスも利用できます。

私たちのコミットメント

製品が環境に与える影響の評価と最適化

私たちの目標

ネスレ製品の環境パフォーマンスを改善するために、製品のライフサイクルを通して製品が与える影響をより深く理解し、効果的に対応すること。

2014年までに、エコデックスのエコデザインツールを全研究開発拠点に適用すること[28]。

2017年までに、エコデックスで使用される農産物に関するデータベースの範囲をさらに拡大すること。

2017年までに、15製品カテゴリーにおけるサステナビリティ重点課題を特定または更新し、対応すること。

私たちの進捗状況

2013年には、12製品カテゴリーにおけるサステナビリティのホットスポット(影響力が大きい領域)を特定し対応するという目標を、1年早く達成しました。2014年には、13製品カテゴリーのサステナビリティのホットスポットに対応するよう活動内容を更新しました。すべての新製品に対して環境サステナビリティ評価を実施しています。

エコデックスのエコデザインツールをすべての研究開発組織で展開し、いくつかの市場で試験的に導入しました。

312名が参加した5回の研修と9回のオンラインセミナーを通して2014年に達成しました。現在までに、ネスレのエコデザインツールを用いて16,507件のシナリオ(2013年は5,200件のプロジェクト、15,500件のシナリオ)[29]に相当する5,740件のプロジェクトが評価されています(パッケージと製品開発プロジェクトが対象)。

私たちの視点

製品の環境パフォーマンスは良いエコデザインから始まるとネスレは確信しています。これは、環境ライフサイクルの影響と他の製品要件の複雑なバランスの明確な理解に基づかなければなりません。ネスレは、すべての主要な製品カテゴリーでライフサイクルアセスメントを実施しました。

エコデックスツールにより、製品デザイナーはより速く効果的に影響を分析できます。これが効果的に利用され、結果の解釈に慣れるなど、新しいユーザーが課題に対応できるよう、段階的に導入しています。

ネスレは、カバーするデータの範囲を拡大し、農産物を効果的に網羅できるよう注力しています。農産物は、多くの製品の環境への影響で重要な要素だからです。

食品の環境アセスメントについて、EUの手法を試験運用

2014年に欧州委員会は、25の製品カテゴリーと2事業部門について、一般的な環境フットプリント法を開発するための3年計画を開始しました。製品環境フットプリントカテゴリールール(PEFCR)の開発を共同で主導するネスレの3つの申請はすべて、欧州委員会によって採用されました。
ボトル入りの水にネスレ ウォーターズ、コーヒーに「ネスプレッソ」、「ネスカフェ」、そしてペットフードには「ネスレ ピュリナ」が選ばれました。このプロジェクトにより、さまざまなコンプライアンスや検証システムを確認するためのパフォーマンス、ベンチマークやコミュニケーション手段を含む、PEFCRの開発過程を設定、認証します。

27 一部の大型合弁事業において、2013年に初めて環境データの報告をしましたが、資材使用量のデータがなかったため2013年のデータを修正しています。
28 拠点は研究開発センターとプロダクトテクノロジーセンターから構成されています。
29 プロジェクトとは、製品を包装することができるあらゆるシナリオを詳述したものです。
シナリオとは、包装システムのフォーマット(例:段ボール内のアルミニウム缶、収縮性フィルム内のガラス瓶など)です。

環境サステナビリティ

2014年にネスレの業務用冷媒の**92%**を自然冷媒と入れ替えました。

私たちのコミットメント

気候変動へのリーダーシップを提供

私たちの目標

2014年までに、業務用冷却システムにおいて、オゾン層を破壊せず、気候変動にほとんど影響を与えない自然冷媒の使用を拡大すること。

2015年までに、すべてのネスレの新しいアイスクリーム用大型冷凍庫で、自然冷媒を使用すること。

2015年までに、温室効果ガス（GHG）排出量削減に貢献するため、製品1トンあたりの直接GHG排出量を2005年と比較して35%削減し、GHG排出量の絶対量を削減すること。

私たちの進捗状況

2014年の国連気候週間中、ネスレは気候変動に対する意欲的な取り組みを支持しました。私たちの誓約には、下記署名が含まれます。

- 国連のケアリング・フォー・クライメイト:ビジネスリーダーシップ・プラットフォーム声明。
- プリンス・オブ・ウェールズ・コーポレート・リーダーズ・グループによる地球温暖化を2℃以内に抑制することを目的とするグローバルな排出削減プログラム(Trillion Tonne Communiqué)。
- 森林に関するニューヨーク宣言。
- 6件のCDP気候変動問題への取り組み:科学的根拠に基づくGHG削減目標、再生可能な電力、森林破壊、気候変動情報と関与、そして炭素価格設定。

企業が科学に基づいたGHG削減目標の設定に取り組むよう、CDP、世界資源研究所、国連グローバル・コンパクト、WWFが共同で立ち上げたMind the Science, Mind the Gap手法を開始しました。

2014年末までに、ネスレの業務用冷媒の92%（2013年は93%）を段階的に廃止して自然冷媒と入れ替えました。2013年と比べ数字の減少が少ないのは、自然冷媒を使用している設備を処分したことが原因です。ネスレの新しい縦型アイスクリーム用チェストフリーザーは、ネスレが全冷凍庫に費やす費用の70%を占めていますが、消費するエネルギーは50%減少しています。

2005年と比較して、生産量が48%増加している一方で、製品1トンあたりのGHG排出量を40%削減、絶対量では11.4%削減となり、2015年の目標を5%上回る削減となりました（2005年～2013年にかけては直接GHG排出量を35%削減）。

私たちの視点

気候変動においてリーダーシップを発揮するというネスレの取り組みは、単なる大気排出削減という枠組みをはるかに超えるものです。これには、責任あるウォーター・スチュワードシップ、廃棄物ゼロに向けた努力、エネルギーと資源の効率的な使用、クリーン燃料への切り替え、再生可能なエネルギー源への投資、流通ネットワークの最適化、そして農業および生産システムを変動する気候に適応させることなども含みます。

事業は解決策の一部でしかありませんが、私たちは幅広く協力的に参加したいと考えており、それこそが一連の産業や複数機関の取り組みを支援する理由です。ネスレはまた、農業従事者が気候変動に適応できるよう支援し、消費者が食事を準備する際にエネルギーの消費や放出を削減できるよう手助けします。

インドネシア各地域での環境と水に関する教育

インドネシアのクジャヤン工場は、コミュニティの収入を農業に依存する農村部に位置しています。この地域では水を保全するための知識や自覚が十分ではありません。ネスレはバリューチェーンに沿ってステークホルダーへの利益となる水のサステナビリティに取り組んでいます。2014年には、学生が自らの環境意識を高め、両親にも環境や水の保全に貢献する影響を与えられるよう、学生向けのプログラムとして環境教育を開始しました。このプログラムは小規模な地域にある全小学校で実施される予定で、対象児童は毎年平均1,000名に到達すると見込まれており、2015年には「ヘルシーキッズ プログラム」を通じてインドネシア中で実施されます。

私たちのコミットメント

森を含む自然資本を保全

私たちの目標

2015年までに、原材料の12の主要カテゴリーの30%が、「責任ある調達ガイドライン」の要件に対して評価され、適合していること。あるいは、自然資本の保全に対する改善計画が実施されていること。

2015年までに、ネスレが周辺地域に与える影響を改善するため、水資源の重要地域[30]近隣の全工場で、改善プログラムを導入すること。

私たちの進捗状況

主要カテゴリーの28%で、ガイドラインの要件に沿った責任ある調達が行われています（2013年は17%）。

2014年に、森林消失を阻止、回復することを望む「森林に関するニューヨーク宣言」を後援することが、ネスレの誓約内容に加わりました。

ネスレは重要な水域に隣接した工場での改善プログラムの確認を継続し、進捗を来年報告します。

私たちの視点

私たちは農家や森林から広範囲の原料を調達します。長期にわたる成功が、自然資本から与えられる製品やサービスによるものだと認識しています。ネスレの「自然資本に対する方針」で、私たちの意図が森林や生物の多様性、生態系サービスを保護する方法で事業を運営し、自然資本の責任あるスチュワードとして行動すること、リスクや責任について報告すること、消費者がより良いインフォームドチョイス（消費者に正しい情報を与えた上で賢く選んでもらうこと）ができるよう支援すること、そしてステークホルダーと協働することであると述べているのはこのためです。

2005年と比較して、製品1トンあたりの直接GHG排出量を**40%**削減しました。

ネスレは改善されたトレーサビリティとサプライヤーとのかかわりを通して、森林破壊問題に対する取り組みで積極的な役割を果たし、また「森林破壊の根絶に関する方針」を通して、ネスレ製品が森林破壊に関与しないことを誓います。森林破壊が起きている地域に関する信頼できるデータを入手し、事業に関連する重要な水域を特定するため、パートナーと継続的に協同して取り組みます。

2014年には、森林消失を阻止、回復することを望む「森林に関するニューヨーク宣言」を後援し、2020年までに全サプライチェーンから製品の原材料が原因となる森林破壊をなくすためのCDP気候変動問題への取り組みを支持しました。私たちは同様にコンシューマーグッズフォーラムの決議を共有し、「ネスレの個々の事業内に資源を結集し、2020年までに森林破壊をゼロにすることに助力します。」

メタン発酵処理で
ラテンアメリカの森林を保護

2014年にネスレは24,750スイスフランを投資し、パナマにある15の小規模な畜産農家に、家畜の排泄物を調理用ガスや液体肥料に変換するメタン発酵処理槽を提供しました。消化槽は環境汚染を回避しながら糞尿の廃棄に対処してくれます。GHG排出量は持続可能なエネルギー源を提供することで削減され、農業従事者は燃料用の木材に頼る必要がなくなり、周辺地域の森林破壊は減少します。

私たちのコミットメント

有意義で正確な環境情報の提供と対話

私たちの目標

2016年までに、あらゆる国の消費者が、事実に基づく環境情報を入手できるようになり、インフォームドチョイスによって、消費者自身による環境改善を可能にすること。

私たちの進捗状況

引き続き、デジタル、パッケージや店頭での接客などを最大限に活用し、環境に関する改善や課題について消費者にお知らせしています。

2014年には、ライフサイクルアセスメント（LCAs）によって確認した科学的な証拠を基に、事実に基づく環境情報を109カ国（2013年も109カ国で実施）で継続的に消費者に提供しました。

外部環境と社会に向けたコミュニケーションの質を改善するために設計した社内ウェブベースのツールNESECAを開始しました。

私たちの視点

製品ライフサイクルのさまざまな接点で、ネスレ製品に関する有意義で正確な環境情報を提供することで、製品を使用する何百万人もの人々の環境意識を高める手助けができると私たちは信じています。ネスレは企業レベル、市場レベル、そして製品ブランドレベルで科学に基づく環境情報を伝達します。これによって、消費者がインフォームドチョイスをし、結果として私たちが持続可能な消費を促進できるようにします。

ネスレの活動がどのように受け止められているのかを理解するため、消費者からのフィードバックを継続的に見直し、ブランドリサーチをし、先駆的な研究に迅速に対応します。2013年のコーポレートエクィティモニター調査において、ネスレのパフォーマンスが実証されました。「ネスレは環境に配慮している」という記述で消費者がネスレを評価した際、31カ国中24カ国で市場平均よりも良い結果が得られ、このうち12カ国では一番の競合他社を大きく上回りました。

NESECAツールによって文書化された信頼できる根拠に基づく堅牢な承認プロセスで、環境と社会に向けたコミュニケーションの社内承認体制を強化しました。

ネスレはまた、「食品の持続可能な消費と生産に関する欧州ラウンドテーブル」と欧州の「製品環境フットプリント」の取り組みを通して、産業と政府と共にコミュニケーションベストプラクティスの開発を支援します。

消費者が環境に与える影響を改善

インドの消費者は、*Everyday a+ Milk*や「ネスティー」のQRコードを、携帯電話で読み取ることで家事の合間などに環境に与える影響を改善するための情報をインターネット上で入手することができます。理想的なアイスティーの淹れ方や省エネのヒントなど、毎日利用できる知識を得ることができます。ウェブサイトには製品のライフサイクルに関するページもあり、UHTミルクなどの製品の製造方法について説明しています。

30　法的に保護されているか、保全契約が結ばれており、損なわれたり、失われたりした場合に、環境的、社会的、文化的、経済的な利益に大幅もしくは過度に悪影響を及ぼすと思われる集水地域。

人材、人権とコンプライアンス

「ネスレの経営に関する諸原則」は、譲ることのできないネスレの事業運営基盤として、強いコンプライアンス文化に対する私たちのコミットメントを反映しています。私たちは国連グローバル・コンパクト(UNGC)の指針にまとめられた人権尊重と労働を全面的に支援し、事業活動を通じて確かな人権尊重と労働実践の良い例となることを目指しています。ネスレの原則は実行可能なものです。私たちは、社内報告(統治報告システム)と外部監査(CARE)の両者を含むコミットメントに沿って、ネスレが確実に経営されるために必要な準備をしています。

ⓘ 私たちはすべての目標を、提示した年の12月31日までに達成することを目指します。

私たちのコミットメント

事業運営とサプライチェーンにおける人権への影響の評価と対応

私たちの目標

2015年までに、FTSE4Good[31]企業として重視するすべての国を網羅し、業務での人権尊重に関するリスクを減らすため社員を研修すること。

2015年までに、ネスレの「責任ある調達ガイドライン」で指定する全12原料カテゴリーで人権を尊重すること。

私たちの進捗状況

2014年には、FTSE4Good企業として重視する11カ国で、さらに7,485名の社員を対象とした人権尊重に関する研修を実施しました。2011年以降、64カ国で49,444名の社員を研修しました。

12の原料カテゴリーはすべてネスレの「責任ある調達ガイドライン」の人権条項で網羅されており、さらに原料特有の人権条項を含む場合もあります。

2014年にはパキスタンで人権影響を評価し、グループのコミットメントとして、サプライチェーンの全農家が調達に関して「責任ある調達ガイドライン」を正式なものにしました。

私たちの視点

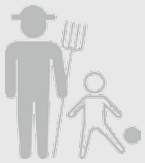
ネスレは社員の基本的人権を尊重し、事業展開し、バリューチェーンに沿って協力し合っています。企業全体でこのような高い水準を維持することにより、人権(労働者の結社の自由、地域コミュニティの水へのアクセス、消費者プライバシーなど)を尊重する一方で、コンプライアンスへの取り組み、例えば児童労働や腐敗との闘いなどをより効果的に行うことができます。

ネスレは人権デューデリジェンス(HRDD)プログラムを展開し、この分野の継続的な発展のために努力を続けます。ステークホルダーの関与はプログラムの8本の柱のうちの一つです。2014年4月、報告書「Talking the Human Rights Walk」に基づき、ロンドンで人権尊重と地域開発に対する私たちの取り組みについてステークホルダーと話し合いをしました。デンマーク人権研究所の支援の下、NGO、政府間組織、シンクタンク、コンサルタント企業、そして事業団体から20名の人権と地域開発の専門家が議論に参加しました。この議論の結果は、全体的なHRDDプログラムや今後実施される人権影響評価に組み入れられます。

専門家からの助言を得る

ハーバード大学ケネディスクールの企業の社会的責任イニシアチブは、民間企業の公的な貢献を調査しようと努める分野横断的かつステークホルダー横断的なプログラムで、企業の責任、企業統治や戦略の交わりを通して理論と実践を橋渡しします。このイニシアチブにより、企業がNGOと共に設立した内部プロセスと外部パートナーシップに注力し、ネスレの人権HRDDプログラムの8本の柱に関するケーススタディーが開発されます。ケーススタディーでは、企業のプログラムがどのようにしてビジネスと人権に関する国連の指導原則に一致するのか、また他企業とのパートナーシップにおいて、どのように国レベルで実施されているのかを調査します。

2014年には**12,458名**の農業従事者が児童労働に対して敏感になりました。



私たちのコミットメント

重点原料における児童労働を根絶

私たちの目標

2015年までに、カカオ、ヘーゼルナッツ、バニラのサプライチェーンにおける児童労働を減らすための行動計画を終了して児童労働に関する6万人の農業従事者の研修を終え、60の学校を建築または修繕し、児童労働モニタリングと改善要請の仕組みを80%の協同組合で導入（2016年までに100%）すること。

私たちの進捗状況

公正労働協会（FLA）と協力の上、ネスレの児童労働モニタリングと改善要請の仕組み（CLMRS）によって、カカオのサプライチェーンにおける児童労働の範囲を特定し、それに応じて根本的な原因の理解と適切な対策の構築を手助けしています。

2014年末までに、このシステムは22のカカオの共同組合を網羅し、ネスレのサプライチェーンにおける複数例の児童労働が特定され改善策が展開されました。12,458名の農業従事者と35,736名の地域メンバーが、CLMRSの一環として児童労働に対して敏感になりました。2014年、FLAはコートジボワールのカカオのサプライチェーンにおける最初の監査結果を発表し、FLAの行動規範を順守するために、さらなる活動がどの領域で必要なのかを強調しました。「ネスレ カカオプラン」の進捗状況の詳細については、20ページをご覧ください。

「ネスレ バニラに関する責任ある調達ガイドライン」では、学校などの基幹施設への投資や技術支援の提供を通してマダガスカルのバニラ産業における児童労働に取り組んでおり、2014年も継続しました。

私たちの視点

家庭の事情や農業・地域開発の正当な必要性を尊重しつつ、ネスレのサプライチェーンからすべての児童労働を根絶することが私たちの目標です。ネスレは、ネスレのサプライチェーンにおける児童労働、そしてそれにどう対処しているかに関して、率直かつ透明であることを信条としています。他社と協力することが必要で、まず児童労働が問題となっている場所を特定し、根本的な原因から対処します。FLAの推奨に続き、2013年にはCLMRSを導入しました。児童労働の根底にある原因は複雑で、ネスレのサプライチェーンにおける児童労働の大半は家庭内で発生しています。

この問題に対処するには、産業、NGO、政府、地方自治体がコミュニティと協力しなければなりません。学校への投資、関係当局との協働による出生証明書へのアクセス率改善と女性が個人所得を確保するための援助まで、ネスレはさまざまな手段で対応しています。

児童労働に対抗する権限を女性に

家庭の切り盛りは女性が担当していることが多いため、女性は児童労働に立ち向かう上で非常に重要な役割となりえます。ネスレは、「ネスレのカカオのサプライチェーンにおける女性のための行動計画」の3つの優先事項（機会均等を促進し、女性に発言権を与え、女性の所得を増やす）を更新し、女性の生活を改善して児童労働を根絶する権限を女性に与えることを目指しています。

2014年、女性のための機会を広げて社会的、文化的な障壁に対処するため、私たちはコートジボワールでジェンダー意識に関する一連の研修を開始しました。この研修は2017年までに全共同組合で展開します。活動分野内での女性の参加を拡大し、女性の影響力を増大させるため、FLAと連携して女性団体と協力します。児童労働の主要原因の一つは収入不足なので、販売可能な食用の作物を女性が栽培できるよう支援もしています。

31　FTSE4Goodは、ロンドン証券取引所の株式市場における倫理的投資の指標です。世界的に認められた企業責任の基準を満たす企業について、そのパフォーマンスを客観的に測定するものです。

人材、人権とコンプライアンス

私たちのコミットメント

全社員とステークホルダーがコンプライアンス違反の疑いを容易に報告できる体制を構築

私たちの目標

2015年までに、各国のネスレが100%「ネスレ完全性報告システム」(内部苦情処理の仕組み)または同等のシステムを運営し、企業が懸念や苦情に対処する過程に関する情報を社員に公開すること。

2015年までに、外部苦情処理システムである'Tell us'に関するコミュニケーションを、ネスレが特定した第1段階の国々だけでなくネスレ ニュートリションの5,000のサプライヤーと1,000のビジネスパートナー(販売業者など)にも拡大し、すべてのステークホルダーによる不順守の報告を促進すること。

2016年までに、秘密厳守の報告ラインの存在に対する認識を組織全体で強化すること。

2016年までに、'Tell us'に関するコミュニケーションをサプライヤーやビジネスパートナーにも継続的に拡大すること。

私たちの進捗状況

2014年末までに、98%の国で社内統治報告システムが実施されました[32]。2013年以降、透明性や統一手法を促進するために、腐敗、賄賂、リーダーシップスタイル、労働慣行および差別やハラスメントなどの違反行為に関するメッセージや対象者の総数を「Nestlé in society：共通価値の創造」を通じて報告しています。

サプライヤーには、サプライヤー規約を通して'Tell us'システムについて通知しています。

私たちの視点

ネスレでの不適切または違法な事例や行動があれば報告するよう、社員やサプライヤー、ステークホルダーに促しています。ネスレはすべての苦情内容を公平かつ適切に調査しています。また、報告に対する報復は禁じています。違法行為が発覚した場合、ネスレは断固とした行動でその行為を直ちに終了させ、適切な対応措置を取ります。すべての外部ステークホルダーによる'Tell us'システムの利用を目指しています。ネスレが事業展開しているすべての国(現地データ保護法で許可されていることが前提)にシステムを導入するよりも前に、まず潜在的に高リスクな地域と特定された国で試験的に実施し、徐々にコミュニケーションを拡大していくことが私たちの戦略です。課題は、ネスレの報告手段が理解され、自信を持って利用してもらうことです。

私たちのコミットメント

腐敗と賄賂に対抗する取り組み

私たちの目標

2015年までに、腐敗防止プログラムを強化し、すべての市場と事業へ伝えること。社員自らに求められている役割を理解するため新たなコンプライアンスに関するeラーニングを開始すること。

2016年までに、さらなる強化が必要な市場と事業で、現地腐敗防止方針の実施手順を採用すること。

2017年までに、コンピューターにアクセスできる全社員がコンプライアンスに関するeラーニングを完了すること。

私たちの進捗状況

2004年以降、腐敗に関する国連グローバル・コンパクトの10番目の原則が、「ネスレの経営に関する諸原則」と「ネスレ考働規範」に含まれています。2014年、ネスレは国連の腐敗防止活動の実施要請に署名しました。

2008年以降、社員向けにインターネットまたは授業形式の研修をしています。2014年、9,369名が賄賂と腐敗に関する研修を完了しました。

私たちの視点

事業を継続するためには、事業全体で業務遂行の最高水準を満たす必要があることは明らかです。ネスレの販売促進が、不適切な利益ではなく、品質、価格、競争力、サステナビリティに基づいているのはこのためです。私たちはあらゆる形の腐敗に立ち向かい、誠実性を損なう可能性には断固として対処し、直ちに排除します。ネスレのCARE監査プログラムによって、腐敗防止の過程を観察することが可能になり、改善が必要な地域や追加的な研修機会を確認できます。不正行為があった場合、社員は完全性報告システムを通してその内容を報告するよう促されます。

32　この数字には、「完全性報告システム」の条件をすでに満たしている別システムを使用している市場も含まれます。

私たちのコミットメント

ネスレの全部門で、全社員の基本的安全性と健康を確保する仕組みを整備

私たちの目標

2016年までに、しっかりとした安全性と健康管理システムを整備し、全社員が全事業で同じレベルの安全性と保護を確保できていること。

私たちの進捗状況

2014年末、444の工場、119の流通センター、26の研究開発拠点、30の事務所、30の営業拠点の安全性と健康管理システムが、OHSAS18001の認証を受けました（2013年は442の工場、130の流通センター、25の研究開発拠点で実施）。

このコミットメントの実施にあたり、事務所や販売コミュニティを手助けするため、安全性と健康に関する専門家のグローバルネットワークが設立されました。このネットワークを通して市場間で情報や事例を共有し、優れた事例を確認することができます。2014年、認証ギャップをなくすために行動計画を整備し、全社的な進捗を監視するために堅固なモニタリングシステムを確立しました。

私たちの視点

すべての産業は内在する危険や危機に対応しなければなりません。事業規模が全世界に及ぶネスレでは、危険の重要性が高まります。ネスレはすでに業界における安全性と健康のリーダーですが、負傷と業務に関連する疾病をゼロにするという究極の目標を掲げ、真の卓越さを求めて努力することを目的としています。この強い思いのある目標は「ネスレの経営に関する諸原則」と完全に一致する内容であり、安全性と健康に関する計画で立案されたさまざまなプログラムや取り組みに支持されています。

ネスレの最も重要な取り組みの一つは、安全性と健康に関するプログラムの範囲を製造と流通活動を超えて拡大し、研究開発、販売、事務所内で作業する社員をも対象とすることです。この目標こそが、ネスレの全社員を対象に、18001の認証を受けた管理システムを導入するというコミットメントに表されているのです。

私たちのコミットメント

社員の男女比のバランスを向上

私たちの目標

2018年までに、女性管理職と幹部（各国の管理職と本社における重要な役職）の割合を毎年高められるよう、ネスレの職場環境でそれを可能とする状況を創造し、男女比のバランスが取れた企業であること。

私たちの進捗状況

2014年、幹部の25%、管理職の34%が女性でした（2013年は31%）。これは、2018年のコミットメント達成に向けて順調に進んでいることを表しています。無意識の偏見に関する研修を開始し、今では77名の指導者が、ネスレの世界市場でリーダーや人事専門家にこのトレーニングを実施しています。

私たちの視点

ネスレの事業やサプライチェーンの多様性は資産であり、奨励して育成すべきものであると信じています。さらに、近年の社会における男女の役割の変化により、すべての階級において男女比のバランスを取ることが必要となっています。異なる考え方がお互いを補完し、より優れた意思決定につながるとネスレは信じています。しかし、ネスレは人為的な割合の設定には反対です。男女が同等に成長できる職場のエコシステムを創造するべく戦略的なステップを導入します。2010年に、世界的な「ネスレにおける柔軟な職場環境ガイドライン」を開始し、2012年に、本社社員が公私のバランスが取れるよう「柔軟な勤務形態ガイドライン」を導入しました。それ以来、26以上の市場で、市場ごとの柔軟な勤務方針を打ち出しています。私たちは、授乳室の設置、父親の育児休暇制度、柔軟な勤務形態など、さまざまな活動を導入しており、男女を問わず社員から歓迎されています。

トウモロコシ栽培者とシアバター収穫者のSamata Aliduさん（ガーナ）

トウモロコシ栽培者兼シアバター収穫者である40歳のSamata Aliduさんは、ガーナ北部のGushieで暮らしています。Samataさんは、ネスレの作物品質向上プロジェクトを通じて農作業の訓練を受けた24,000人の女性農業従事者の一人です。ネスレの農学者からの助言のおかげで、Samataさんは生産量を2倍以上に増やすことができました。「コミュニティへの影響は莫大です。私は子どもたちの学費を支払えるようになりました。子どもたちの制服を縫う余裕もできました。副収入まで得られるようになったのです。」

人材、人権とコンプライアンス

私たちのコミットメント

ヨーロッパのネスレで30歳未満の若年層2万人に雇用機会を提供

私たちの目標

2016年までに、ヨーロッパで1万人の若年層と1万人の30歳未満の研修者もしくは実習生を雇用し、この年齢層の失業問題に取り組むこと。

私たちの進捗状況

2013年のNestlé needs YOUthプログラムの告知後、ネスレは2014年にAlliance for YOUthを発足しました。このアライアンスは、企業がまとまって実習や研修、就労準備のイベントなどを若者に提供するものです。現在では約200企業がこの取り組みに参加しており、ヨーロッパの諸機関や政府、教育機関、労働組合などから肯定的に認められています。

2014年末までに、Nestlé needs YOUthプログラムによって11,832人の若者が雇用もしくは実習機会を得ることができました。特に、1,675以上の就労準備イベントを開催、ヨーロッパ中から5,652人の社員を動員しました。

この取り組みの世界的な拡大は、2014年のCSVフォーラムでポール・ブルケCEOにより告知されました。グローバル・ユース・イニシアチブには、二つの目的があります。一つは、次世代を担うネスレのリーダーを募集し育成すること、もう一つは若者が(実習/研修と就労準備プログラムを通じて)学生から社会人への移行を援助することです。

ネスレは7,690人の若者を臨時雇用または正社員雇用し、そのうち4,142人の研修生や実習生は30歳未満でした。

私たちの視点

優秀な人材を惹きつけ、継続雇用することは、徐々に回復しつつある経済下でネスレが競争優位性を得るために不可欠です。ネスレの成長に伴い、経済を支え、また実習機会や仕事を与えることで頼りになる次世代の社員を輩出する機会を得ます。若者の失業は世界的な大きな問題であり、このプログラムはまもなく全世界へ拡大されます。

ヨーロッパでは、若者の4人に1人が失業状態です。ネスレは2016年までに数千の仕事や研修、実習機会を30歳未満の若者に提供します。工場のオペレーターから営業アシスタントや管理職まで、あらゆる事業と階層で人材を募集します。

私たちは定期的なモニタリングによって、ヨーロッパ各国の進捗状況を把握しています。Nestlé needs YOUthの取り組みを通して雇用者としてもブランドを構築し、ネスレの市場全体における連携の促進など、価値ある機会を提供しています。

Alliance for YOUth

2014年6月、ネスレはヨーロッパにおける若者の危機的な失業問題への取り組みとして、積極的な役割を果たすことを決断した企業を集め、Alliance for YOUthを発足しました。2014年末までにヨーロッパ中から約200社がこの取り組みに参加し、次年度に100,000以上の機会を若者に提供することを誓いました。Alliance for YOUthは、若者が就職して厳しい労働市場でチャンスを掴める準備を手助けする、ヨーロッパ全土にわたるビジネス主導の前例のない活動です。

2014年、Nestlé needs YOUthプログラムにより、ヨーロッパの若者**11,832人**が雇用もしくは実習機会を得ることができました。

私たちのコミットメント

共通価値の創造(CSV)、栄養(NQ)、環境サステナビリティに関する研修を社員に実施

私たちの目標

適切な研修と支援によって、ネスレの全社員が共通価値の創造においてそれぞれの役割を果たすこと。

2014年までに、スイスにあるネスレの国際研修センターの全コース(年間で現役と将来のリーダー候補約3,000名が受講)、全社員が受講できるように設計したeラーニング、そして試験段階の新しいリーダーシップコースに共通価値の創造を完全に組み入れること。

2015年までに、栄養指数(NQ)のトレーニング[33]に関する全社的な目標として、2015年末までにネスレの全社員がeラーニングのモジュールを含め、NQ基礎モジュールを少なくとも1回受講すること。

2016年までに、社員のための環境意識に関する講習を通して、私たちのコミットメントを達成する能力を強化すること。2016年までに、環境意識に関する研修をすべての国で実施すること。

私たちの進捗状況

CSVは、国際研修センターで実施されている全コースと全ゾーンでしっかりと根付いており、2014年は、2,398人の現役と将来のリーダー候補が受講しました。

ProfitAbility社と協力の上、ネスレのリーダー間で共通価値の創造への理解と行動を高める手助けをするため、ゲーム形式の研修モジュールを開発しました。このソリューションは国際研修センターで伝達され、世界中に展開されます。

2007年のプログラム開始から2014年末までの間に、世界中で310,833人の社員がNQ[33]トレーニングを完了しました。2014年には、51,113人が再教育を目的としたNQトレーニングを受講しました(2013年は108,083人)。

社員を対象にした環境意識に関する研修と教育の講習は86カ国で開催されました(2013年は79カ国)。さらに、国際研修センターと市場で、新たな環境サステナビリティ・リーダーシップ・ワークショップを開始しました。ネスレが事業展開している国々での展開を加速するために、Train the Trainer研修を開始しました。

また、幹部にはケンブリッジ大学でプリンス・オブ・ウェールズ・ビジネス・サステナビリティ・プログラムに参加する機会があります。

私たちの視点

世界をリードする栄養・健康・ウエルネス企業として、ネスレは社員を大切にし、日常的な活動に良い影響を与える研修や教育を提供することを目標としています。リーダーシップレベルでの能力や理解を最大化するため、マネジメント研修に共通価値の創造を組み入れることから始めます。栄養指数(NQ)と呼ばれる最新の公衆衛生の優先事項に基づいた栄養に関する魅力的な研修を、勤務地や労働条件にかかわらず、ネスレの全社員に提供します。自身の栄養や家族の栄養、場合によっては消費者の栄養について、情報に基づいた意思決定ができるよう手助けすることをネスレは目標とします。

また、環境的に持続可能なビジネスの実践に向けて、継続的な改善文化を育てるために、私たちは環境意識プログラムを開発しています。これらすべてにおけるネスレの課題は、過剰な情報と研修で負担をかけず、共通価値の創造に取り組み、可能性を与えることです。ネスレの共通価値の創造の優先事項に基づいた戦略的アプローチが鍵となります。

33　ネスレのNQトレーニングプログラムは、ネスレ社員が公私両方で、最新の科学的証拠に基づく栄養選択ができるようにするものです。

ステークホルダーとのかかわり

ステークホルダーとの効果的な対話の継続は、ネスレの全バリューチェーンを通じて共通価値の創造の要となります。ネスレがコミットメントを果たすには共同のアプローチが必要です。ステークホルダーの意見に耳を傾けて理解し、継続的な期待に対応することが不可欠です。

私たちのアプローチ

世界規模での貢献活動として、共通価値の創造フォーラムや定期的なステークホルダー向けの会議をネスレ本社が調整し、開催しています。ネスレの個々の事業も、ステークホルダーと国家レベルでかかわりがあります。

共通価値の創造フォーラムは、特に栄養、農業・地域開発、水資源などに関連する主要課題における企業の役割に焦点を当てます。

ネスレのステークホルダー会議では、ネスレとネスレの共通価値の創造が注力する分野特有の課題に取り組みます。ステークホルダー会議は、2007年(ジュネーブ)、2008年(ワシントンDC)、2009年(ジュネーブとクアラルンプール)、2011年(ニューデリーとロンドン)、2012年(ナイロビとロンドン)、2013年(ロンドン)、2014年(ロンドンとジャカルタ)で開催されました。

ステークホルダー会議の結果は経営陣に報告され、次年度の方針、戦略と活動の立案時に考慮されます。会議結果は、重要課題分析の強固な基礎にもなっています。

2014年共通価値の創造フォーラム

2014年10月9日、ネスレはスイスで国連貿易開発会議と第6回共通価値の創造フォーラムを共催しました。今年は、社会の核となる産業にいかに注力するかをテーマに討議しました。フォーラムでは、国内外の政府、学会、一般市民、企業、その他数百名が参加、20名を超える著名な専門家にディベートと討議の場が提供されました。討議は、主に栄養、水資源と地域開発に焦点を当て、持続可能な開発をいかに加速するかを軸に進められました。200名以上が会場に出席、4,621名がインターネット上で参加し、ツイッターではイベントに関するツイートが5,948件に上りました。

2014年ステークホルダー会議

2014年ステークホルダー会議はロンドン(ステークホルダー49名)とジャカルタ(ステークホルダー92名)で開催され、NGO、学会、政府、企業団体、国際機関の代表者らが出席しました。

2014年度共通価値の創造大賞

現在南スーダンの15,000人の農業従事者と協働している東アフリカのフェアトレード養蜂会社Honey Care Africaが、2014年度共通価値の創造大賞を受賞しました。

今年の話し合いでは、ネスレのビジネスモデル、および共同行動に影響力を持ち、持続可能な開発の変化を助長するネスレの役割が重視されました。

ネスレの透明性や傾聴姿勢、また経営陣の価値ある意見に、出席者は高い評価を示しました。おおむね、ステークホルダーは彼らの意見が取り入れられ、実行されているという印象を持っています。出席者から数々の推奨事項が提案されました。一例が、栄養・健康・ウエルネス分野です(次ページを参照)。

鍵となる外部ステークホルダーグループ

ステークホルダーの世界的なネットワークは非常に大きなものです。ネスレの事業活動に定期的にかかわる方から、ネスレの活動に影響を及ぼす公職にある方まで、さまざまなステークホルダーが存在します。以下のグループ(アルファベット順)は、ネスレの継続的な事業成功のために欠かせない存在です。

- 学会
- コミュニティ
- 消費者と一般市民
- 顧客
- 社員
- 政府
- 産業界と事業者団体
- 政府間組織
- 非政府組織
- 報道機関
- 株主と金融業界
- サプライヤー(農家や小規模農家を含む)

「共通価値の創造大賞の受賞により、私たちのチームや農業従事者、アフリカの顧客の献身的な取り組みと情熱が認められたことはすばらしいことです。それ以上に、私たちの持続可能なサプライチェーンにネスレの世界規模の資源と専門知識を利用することができ、ネスレと長期にわたる関係を築く機会を持てたことに感動しています」

Madison Ayer（Honey Care Africa会長兼最高経営責任者）

ステークホルダーの推奨事項

出典:SustainAbility社

共通価値の創造全体、また重点的に取り組んでいる各分野で、ネスレの長期的な共通価値の創造のビジョンを展開し、コミュニケーションすること。	ステークホルダーは、「栄養・健康・ウエルネスの世界のリーディング企業」であるネスレの5年後、10年後、15年後の明確な長期的なビジョンと、異なる国や地域における可能性についても知りたいと希望しています。 ステークホルダーは、ネスレが引き続き栄養・健康・ウエルネスのコミットメントを実行し、それによってもたらされる結果を重視するよう促しました。
製品ポートフォリオの変更を進め、全製品カテゴリーの中で最高クラスにすること。「良いものを取り入れること」と「悪いものを取り除くこと」を重視し、役立つポーションガイダンスを提供、最終的には不健康なブランドを整理すること。	ステークホルダーは、ネスレが引き続き低中所得の国々において、糖類、脂肪と食塩の基本について至急取り組むことと、微量栄養素強化へ働きかけることを望んでいます。 ネスレが、あまり健康的でない製品を最終的にポートフォリオから整理することを望むステークホルダーもいれば、ポーションガイダンスを改善するために何ができるかに関心を持つステークホルダーもいます。
幼児期の栄養という課題に対して、より積極的に取り組むこと。	ネスレはこの難しい分野で、他組織との共通点を見つけるよう奨励されました。 発育不良と小児肥満は、解決のためにネスレがより積極的な役割を果たすことができる緊急の健康懸念であると、ステークホルダーは考えています。
ネスレのマーケティングがどの市場においても最新で、ネスレが影響力を発揮し、全業界でより良いマーケティングを確実に推進すること。	児童がおかれているマーケティング環境を再構築するためにネスレが産業界を主導し、糖類、食塩と脂肪を多く含む食品の複数購入を促すプロモーションの削減や排除など、より責任のあるマーケティングを行うため小売業者と協力することが望まれています。
より良い健康と栄養を促進するために、ネスレが政府や業界同業者を擁護し巻き込むこと。	ステークホルダーは、健康と栄養に関する課題について、ネスレが政府に働きかけ、業界の法律に好影響を与えることを期待しています。 糖尿病予防や健康的な食事方針を促進するため、ネスレが業界への貢献をリードするようステークホルダーから提案がありました。 ステークホルダーは、ネスレが特に重点的に飢餓と発育不良を伴う低栄養に取り組むよう提言しました。
「業績を上げ、利益を得ること」や企業と消費者行動に影響を与えることについて、業界に貢献すること。	ステークホルダーは、特に「トップ争い」に他社が参加しない競争環境（中国など）において、ネスレが直面している長期および短期的な利益と変化のバランスに関する課題で透明性を保つよう期待しています。 また、ステークホルダーは、ネスレが企業活動や消費者行動を変えるため活用できる研究結果やデータの開示を促進するよう提案しました。一例が、食料廃棄の経済コストや、より健康的な食事決定にいかに影響を与えるかです。
サプライチェーン全体で既存システムを活用し、農業従事者、サプライヤー、社員、コミュニティ、消費者、企業、学生を対象に草の根レベルで教育に取り組み、健康と栄養の課題（食品の安全性や非伝染性疾病［NCD］を含む）に対する理解と認識を深めること。	ステークホルダーは、栄養はサプライチェーン全体（農場から「食卓」まで:健康的な農家、健康的な穀物、健康的な栄養、健康的な人々）を巻き込む統合的な力をもつ広範な課題であることを認識しました。特に公衆衛生、栄養（糖類と食塩の閾値）、食品安全の分野で、NCDや低栄養の「二重負荷」に対処するため、ネスレが人々の意識を高め、教育を普及させるようステークホルダーは期待しています。 現地における草の根レベル（村落に住む母子集団など）での取り組みが提案されました。
研究データ、情報とベストプラクティスを共有すること。	共同行動で情報不足を補い、主要な公報メッセージのコミュニケーションを調和させるよう、ステークホルダー間で合意しました。再現性や規模に関して他市場のデータとベストプラクティスを共有して欲しいとネスレに要請がありました。一例が、人権に関する取り組みと健康と栄養に関するデータ、パキスタンの「緑化サプライチェーン」モデルです。
共通価値の創造の図とコミットメントでコンプライアンスの文言を使用するだけでなく、さらに意欲的になること。	ステークホルダーは、業界内のベストプラクティスに影響を与えるよう、ネスレが意欲的な目標を発言するよう望んでいます。

重要課題

重要な課題とは何か?

グローバルレポーティング・イニシアチブ(GRI)G4ガイドラインによれば、重要な課題(または重要な側面)とは、「組織の重大な経済的、環境的そして社会的影響を反映する課題、または実質的にステークホルダーの評価と決定に影響する課題」とされています。

端的にいえば、重要課題の評価とは、ネスレのビジネスとステークホルダーにとって最も重要な課題を特定することです。私たちは、外部ステークホルダーにとっての最大の関心事である経済、社会そして環境に関する課題を、ステークホルダーがネスレに提示するネスレの評判、事業運営や財務などを含むリスクや機会に照らし合してマトリックスに表します。これによって、ネスレは多くの目標を達成しやすくなります。

- ネスレのビジネスに関する変化や新たな課題に通じていること。
- 「共通価値の創造報告書」が取り上げる内容を決定するためにしっかりとした根拠を提供し、その内容がさまざまなステークホルダーにとっての情報ニーズを確実に満たしていること。
- 重要課題に対するGRI G4の要件を満たしていること。

重要課題の再評価

2014年には、独立したシンクタンクであり戦略的アドバイザーであるSustainAbility社とネスレの重要な案件を共同で再評価しました。

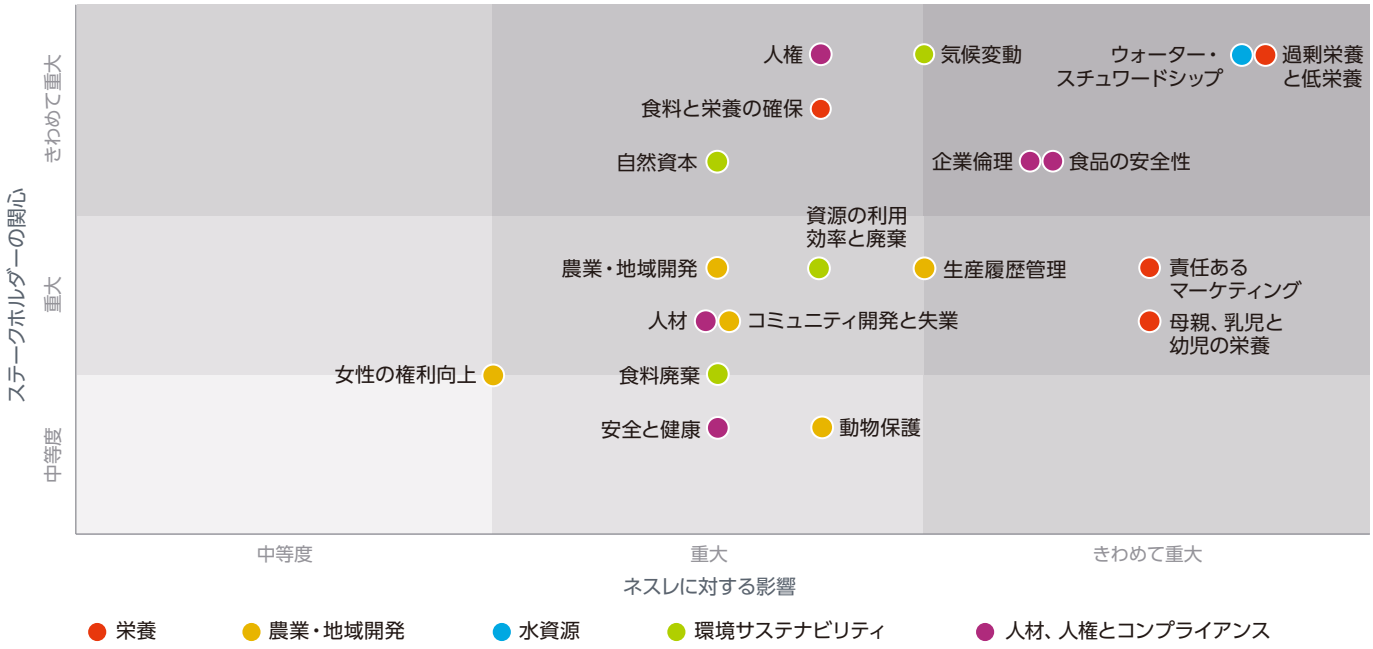
SustainAbility社は、重要な課題の採点や順位付けが前年度よりもさらに正確になるよう厳密な方法を適用しました。この方法によって、まず課題を特定し、各課題に関心を抱く外部ステークホルダーを幅広く特定しました。そして、ステークホルダーの関心度と各課題がビジネスに与える影響度を評価し、重要課題マトリックスに課題を入力しました。

今年、ネスレは栄養へのアクセス指標、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、株主決議、食品分野に関するアナリスト報告書などを追跡調査し、社会的責任を持つ投資界の関心と優先事項に一層の注意を払いました。

バリューチェーンに対する影響の評価

2014年、初めて重要な課題を検討してバリューチェーンマップに描きました。これは、各課題がバリューチェーンに沿って、ネスレの財務、事業運営と信頼にいつどこで影響を与えたかに応じて行われました(例:農産物生産中、サプライチェーンの段階、ネスレが生産中、製品販売時または消費者の手元に届いた時)。この過程を通じて、最大の影響を持つネスレのバリューチェーンの各段階で課題の監視や報告に重点的に取り組むことができます。

2014年ネスレの重要課題マトリックス



ネスレの重要な課題

2013年の重要課題マトリックスは、分析をさらに進めて更新するために設計した2012年のマトリックスを一新したものでした。2014年の重要課題マトリックスは、全く新しい重要課題の評価に基づいています。
以下の課題は、新規または2013年の分析を再構成したものです。

- 企業倫理
- 母親、乳児と幼児の栄養
- 資源の利用効率と廃棄
- 生産履歴管理
- 責任あるマーケティング
- 人材
- コミュニティ開発と失業
- 女性の権利向上

19の重要な案件が、共通価値の創造の8カテゴリーの下にまとめられました。

栄養	
食料と栄養の確保	安全で栄養価の高い食物を、手頃な価格で十分に入手できるよう貢献すること。
過剰栄養と低栄養	すべてのライフステージで、最適な栄養・健康・ウエルネスを支援すること。製品ポートフォリオの入れ替え、製品とサービスの開発とリニューアル、手の届く価格帯の製品を通して、過剰栄養や低栄養、関連する微量栄養素欠乏症、過体重や肥満などの状態や非伝染性疾患(NCD)などへの対応を促進すること。
母親、乳児と幼児の栄養	より良い健康と福祉のために、母親、乳児と幼児の栄養を改善すること。
責任あるマーケティング	より良い健康と環境のために、消費者にとって適切なマーケティングを行い、消費者行動を形成すること。
農業・地域開発	
動物保護	サプライチェーンと製品検査において動物の幸せを守り、動物の健康とウエルネスを促進すること。
農業・地域開発	持続可能な農業コミュニティを推進するため、直接的、間接的に経済活動を促進し、サプライチェーンにおける農業従事者の生活を改善すること。
女性の権利向上	バリューチェーンを通して、女性が社会と経済に本格的に参加できるよう女性の権利向上に努めること。

コミュニティ開発	
コミュニティ開発と失業	コミュニティや社会への貢献を通して人々の生活を改善し、雇用、教育と技能開発の機会を広げること。
責任ある調達	
生産履歴管理	主要な原材料が確実に責任を持って栽培、加工されており、原産地を可能な限り追跡できること。
水資源	
ウォーター・スチュワードシップ	上下水道や衛生設備の利用など、共有の水資源の持続可能な管理のため個人または集団として必要な活動を実施すること。
環境サステナビリティ	
気候変動	温室効果ガスの排出を削減し、気候変動による悪影響の緩和と悪影響への適応に貢献すること。
食料廃棄	原材料の損失や食料廃棄を避けること。消費者の使用と再利用、流通、製造と農業を含む。
自然資本	直接的、間接的に価値を生む生態系サービスの要因を特定し、保護すること。
資源の利用効率と廃棄	原材料の直接的、間接的な使用量を削減、廃棄物を減らし、副産物の回収、再利用またはリサイクルの機会を最大限に高め、廃棄物を適切に処分すること。
人権とコンプライアンス	
企業倫理	ビジネスと職場の倫理原則を貫くこと。
食品の安全性	製品の高い品質を保証し、バリューチェーン全体で、出荷、調理と保管による健康リスクを防ぐこと。
人権	ビジネス活動、事業運営とサプライチェーンにおいて人権を尊重すること。
私たちの人材	
人材	社員と良好な関係を維持し、良好な労働条件を促進すること。
安全と健康	職場における事故ゼロを目指し、社員が安全で健康に働くことができるよう促すこと。

コミットメント一覧表

栄養

コミットメント	目標	対策
子どもの栄養分野で知識のリーダーシップを構築	◐ **2016年までに**、子どもの栄養についての知識を広め、ネスレ製品やサービスの開発について知ってもらうため、米国、メキシコ、中国、ロシアを含め、世界10カ国以上で大規模調査プロジェクトを実施すること[1]。	栄養・健康・ウエルネスに関する計画の一環として、下記のような大規模な調査を実施して、不足している重要な栄養素を特定し、妊婦、赤ちゃんと12歳以下の子どもの食生活とライフスタイルのパターンを把握します。 乳幼児への栄養供給の研究（FITS）。 子どもの栄養と健康に関する研究（KNHS）。 ネスレ ニュートリション インスティテュート（NNI）による研究。
協力を通じて栄養と健康に関する研究で業界をけん引	◐ **2016年までに**、ネスレ インスティテュート オブ ヘルスサイエンス（NIHS）とネスレ臨床開発部門の分子栄養学の可能性と臨床戦略をさらに発展、融合させ、栄養学的ソリューションを用いた疾病管理を改善すること。 ◐ **2016年までに**、ネスレ リサーチセンター（NRC）の焦点をネスレが良い影響を与えられる5つの重要な課題に当てること。すなわち、健康な加齢、健康的な楽しみ、初めの1,000日（母親の妊娠期から子どもが2歳の誕生日を迎えるまで）と健康的な子ども、持続可能な栄養、食品の安全性と品質です。	2011年に設立されたネスレ ヘルスサイエンスは、ネスレの完全子会社です。その使命は、ネスレ インスティテュート オブ ヘルスサイエンス（NIHS）が生み出す知識を利用して、慢性疾患を持つ方のための革新的な栄養学的ソリューションを開発することです。ネスレ ヘルスサイエンスは、生命維持サポート、消費者の健康、脳の健康、代謝の健康、胃腸の健康という5つの分野に焦点を当てています。
子ども向けにデザインされた栄養製品を提供	● **2014年までに**、子ども向け（12歳未満）製品[2]の100%で、世界保健機関やアメリカ医学研究所が発行する栄養科学と推奨摂取量などに基づいた、「ネスレ栄養基盤」の基準[3]を満たすこと。 ⊕ **2015年までに**、子ども向け製品[2]の100%で、子ども用の「ネスレ栄養基盤」のすべての基準[3]を引き続き順守すること。	ネスレ栄養プロファイリングシステムを常に見直して最新の科学的根拠を反映します。 すべての子ども向け製品を「ネスレ栄養基盤」[3]の基準に照らして評価します。 製品の刷新。 ネスレ チルドレンズヘルシーグロース戦略。
微量栄養素の強化による低栄養のリスク削減を支援	◐ **2016年までに**、特に子どもや出産年齢の女性を対象とした微量栄養素強化食品を世界で年間2,000億サービングまで増やし、微量栄養素不足の対策に役立てること。 ◐ **2015年までに**、微量栄養素強化食品のポートフォリオを拡大し、地域の農業従事者に利益をもたらすため、バイオフォーティフィケーション（生物学的な微量栄養素強化）を行った穀物の開発と主要な市場で新製品を発売すること。	ネスレ微量栄養素強化方針：意味のある栄養強化と安全基準値の目標設定をします（2000年策定、2011年更新）。 ネスレ バイオフォーティフィケーションプログラム：栽培と消費促進を目的に、バイオフォーティフィケーションされた途上国の従来種穀物を調達します。
ネスレ製品に含まれる食塩を削減	● **2014年までに**、子ども向け（12歳未満）製品[2]の100%が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準[3]を順守し、子どもの食事における食塩量の削減を推進すること。 ◐ **2016年までに**、「ネスレ栄養基盤」の基準[3]を満たしていない対象となる[4]すべての製品についても、さらに10%食塩含有量を削減し、製品ポートフォリオのうち実現がより困難な分野についても徐々に食塩を削減すること。	WHOの推奨に基づく食塩に関するネスレの方針（2005年、2014年更新）。

目標達成度：● 達成済　◐ 達成見込み　○ 開始済　⊕ 新たな目標

私たちはすべての目標を、提示した年の12月31日までに達成することを目指します。

栄養

コミットメント	目標	対策
ネスレ製品に含まれる糖類を削減	◐ **2015年までに**、子ども向け(12歳未満)[2]または10代向け(12歳以上18歳未満)[5]の朝食用シリアルブランドでサービングごとの糖類含有量を9g以下に削減し、子どもの食事に含まれる糖類の削減を推進すること。 ◐ **2016年までに**、「ネスレ栄養基盤」の基準[3]を満たしていないすべての対象となる[4]製品についても、さらに10%糖類含有量を削減し、製品ポートフォリオのうち実現がより困難な分野についても継続的に改善すること。	WHO推奨に基づく糖類に関するネスレの方針(2007年、2014年更新)。
ネスレ製品に含まれる飽和脂肪を削減、トランス脂肪を除去[6]	● **2014年までに**、子ども向け製品[2]の100%で「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪基準[3]を満たし、子どもの食事における飽和脂肪量の削減を推進すること。 ◐ **2016年までに**、「ネスレ栄養基盤」の基準[3]を満たしていないすべての関連[4]製品についても、さらに10%飽和脂肪含有量を削減し、部分水素添加油(PHO)由来のトランス脂肪を除去して、製品ポートフォリオの中で実現がより困難な分野についても継続的に改善すること。	WHO推奨に基づく飽和脂肪に関するネスレの方針(2009年、2014年更新)。 WHO推奨に基づくトランス脂肪に関するネスレの方針(2003年、2014年更新)
全粒穀物と野菜の摂取を奨励	◐ **2015年までに**、栄養価を高めるため、1サービングあたりの子ども向け(12歳未満)[2]または10代向け(12歳以上18歳未満)[5]の朝食用シリアルにおける全粒穀物の割合を他のどの材料よりも高くすること。 ◐ **2015年までに**、30カ国で「マギー」料理教室を実施し、全粒穀物と野菜を使った料理を奨励すること。 ◐ **2015年までに**、世界で販売する「マギー」製品の90%で家庭での調理と野菜を含む食事を奨励すること。	全粒穀物を朝食用シリアルに追加するという公式コミットメント。 家庭での調理や健康的な食事バランスを教えることで野菜の消費を推進します。
すべてのネスレ製品のラベルに栄養情報とアドバイスを記載	◐ **2016年までに**、世界で対象となる[7]全食品飲料のパッケージ前面に、1日のカロリーガイド(GDA)に基づく表示をし、消費者に栄養成分について知らせること。 ◐ **2016年までに**、(規制で認められれば)子ども向け[2]のすべての製品に子ども用の基準値に基づいたGDA表示を導入し、親が子どもに栄養価の高い製品を選べるよう支援すること。 ◐ **2016年までに**、パッケージ上のスマートフォン向けQRコードを通して詳細な製品情報と栄養に関するアドバイスを提供し、より情報を得やすくすること。	ネスレ ニュートリショナルコンパスの表示基準(2005年、2011年更新)。 栄養/1日のカロリーガイド表示(GDA)の表示基準(2006年策定、2013年更新)。
ポーションガイダンス(1食分を知らせるさまざまな工夫)を提示	◐ **2015年までに**、子ども向け[2]および家族向けのすべての製品でポーションガイダンスを実施し、健康的な摂取量を推奨すること。	ネスレ ポーションガイダンスの取り組み。 各地域の製品カテゴリーにネスレの「ポーションブック」を発行します。 できるだけ直感的にわかる適切な摂取量と頻度を記載します(2011年開始)。

栄養

コミットメント	目標	対策
健康的な食生活、ライフスタイル、運動を推進	● **2015年までに**、「ネスレ ヘルシーキッズ グローバルプログラム」を80カ国で導入し、国際陸上競技連盟(IAAF)のキッズアスレチックスプログラムを推進し、世界中の子どもたちの栄養・健康・ウエルネスを改善すること。	「ネスレ ヘルシーキッズ グローバルプログラム」(2009年開始):国際陸上競技連盟など、専門家であるステークホルダーと協力して、学童に健康的な食生活と活動的なライフスタイルを教育します(2013年)。
健康的な生活習慣の一部として、健康的な水分補給を推進	● **2014年までに**、世界中の医療専門家、介護者、保護者を対象にした、事実に基づく健康的な水分補給の意識向上プログラムをさらに実施し、健康的な水分補給を促すため水の効能についての詳しい情報を提供すること。	特に子どもに焦点を当て、健康的な水分補給の重要性に関する医学的根拠を収集し、意識を高めます(2010年開始)。 教師を対象にした水に関する教育(プロジェクトWET)で健康的な水分補給モジュール。 「ネスレ ヘルシーキッズ グローバルプログラム」。
適切な栄養摂取と食事のために、教育プログラムを実施	◐ **推進中** – 低栄養と栄養過多の問題に対応する医療専門家向けの栄養教育サービスとプログラムを提供しています(ネスレ ニュートリション インスティテュート)。 ◐ **推進中** – 初めの1,000日(母親の妊娠期から子どもが2歳の誕生日を迎えるまで)の重要性に焦点を当てた、親と保護者向けの科学的で実際的な栄養教育を提供しています。これには、人生最良のスタートのための妊娠中の母体の栄養や乳児に最適な母乳栄養の推進などが含まれます(ネスレの「スタートヘルシー、ステイヘルシー」)。 ⊕ **2015年までに**、ネスレ ニュートリション インスティテュートが、9カ国語によるオンライン教育サービスを通して100万人以上の医療専門家とコンタクトすること。 ⊕ **2015年までに**、ネスレの「スタートヘルシー、ステイヘルシー」を、多言語オンライン栄養教育サービスを通して世界規模で500万人以上の母親と保護者に届けること。	ネスレ ニュートリション インスティテュート(NNI)は、初めの1,000日(母親の妊娠期から子どもが2歳の誕生日を迎えるまで)の重要性に焦点を当てた医療専門家向けのプログラムとサービスを提供します。 初めの1,000日の重要性に関して、親と保護者向けに栄養教育を提供します。妊娠中の母体の栄養や乳児に最適な母乳栄養の推進などを含みます。 「スタートヘルシー、ステイヘルシー」:科学的根拠に基づく対話式の教育プログラム。
子ども向けに責任あるマーケティングコミュニケーションを実施	⊕ **2015年までに**、子ども向けマーケティングコミュニケーション方針を強化すること。	子ども向けマーケティングコミュニケーション方針。
責任を持って母乳代替品を販売	◐ **推進中** – 人生の初めの1,000日に適切な栄養摂取と母乳育児を推進する既存の取り組みの一環として、母乳代替品の責任あるマーケティングについて進捗を公表すること。 ● **2014年までに**、新規に取得したワイス インファントニュートリション(乳児用調製粉乳事業)がFTSE4Good指標の基準を満たすこと。 ⊕ **2015年までに**、ネスレ インファントニュートリションとワイス インファントニュートリションの両事業がFTSE4Good指標の母乳代替品基準を常に満たせるよう取り組みを継続的に強化すること。	各国政府が実施するWHOコードとWHOコードの実施に関するネスレの方針およびインストラクションを順守します。 ネスレの方針や実践について独立した第三者が確認、承認します。

目標達成度: ● 達成済 ◐ 達成見込み ○ 開始済 ⊕ 新たな目標

農業・地域開発

コミットメント	目標	対策
農家のニーズを理解するために「農業・地域開発の枠組み」を実施	◐ **2015年までに**、明白な社会的ニーズがある、ネスレ事業にとって重要な国々で、基礎評価を継続し、ネスレの事業活動と現地コミュニティの優先事項の調整に役立てること。	農業・地域開発へのより一貫したアプローチであるネスレの「農業・地域開発の枠組み」[8]を通じ、ネスレは現場の課題に取り組みます。特定地域の課題に取り組む柔軟性を維持しつつ、世界規模の優先事項にも焦点を当てます。開発と人権を尊重した手法を織り交ぜ、農家、労働者、地域コミュニティが農村部で直面する課題に取り組みます。
サプライチェーンにおける責任ある調達を実施	◐ **2015年までに**、「ネスレ サプライヤー規約」の順守状況の改善と証明、1万件の責任ある調達の監査の完了とその70%が完全なコンプライアンス順守であること。 ◐ **2015年までに**、12の主要なカテゴリー(パーム油/大豆/砂糖/紙パルプ/コーヒー/カカオ/乳製品/魚、シーフード/シアバター/バニラ/ヘーゼルナッツ/畜肉、家禽肉、卵)の取り扱い量の40%が追跡可能であること。	「ネスレ サプライヤー規約」。 ネスレの責任ある調達と生産履歴管理プログラム 。 第三者との提携。
カカオ農家と共に「ネスレ カカオプラン」を実施	◐ **2015年までに**、「ネスレ カカオプラン」を通じて10万トンのカカオを調達すること。 ⊕ **2016年までに**、「ネスレ カカオプラン」を通じて12万トンのカカオを調達すること。ネスレの児童労働モニタリングと改善要請の仕組みシステムを完了させ、コートジボワールにおけるすべての「ネスレ カカオプラン」農業協同組合での児童労働を見つけること。 ⊕ **2017年までに**、「ネスレ カカオプラン」を通じて15万トンのカカオを調達すること。	ネスレのカカオについて持続可能なサプライチェーンを確立すると共に、農家の収益性のある経営を可能とし、児童労働を根絶します。 「ネスレ カカオプラン」は、コートジボワール、ガーナ、エクアドル、ベネズエラ、メキシコ、ブラジル、インドネシアで導入されています。
コーヒー農家と共に「ネスカフェ プラン」を実施	◐ **2015年までに**、ネスレのコーヒーサプライチェーンの持続可能性を向上させるため、ファーマー コネクト[9]から18万トンのコーヒーを調達すること。そして、調達したコーヒーのすべてが4C(コーヒーコミュニティの共通規約)[10]を基本とするサステナビリティ基準を100%順守していること。 ◐ **2020年までに**、ネスレのコーヒーサプライチェーンの品質、数量、持続可能性を改善させるため、2億2,000万本のコーヒー苗木[11]を配布、9万トンの「ネスレ持続可能な農業イニシアチブ」[12]準拠コーヒーを調達すること。	持続可能な消費、生産と製造に注力します。 コーヒーコミュニティの共通規約(4C)の会員資格。 レインフォレスト・アライアンスとの提携。

水資源

コミットメント	目標	対策
事業全体における水の利用効率とサステナビリティの向上に向けた取り組み	◐ **2015年までに**、全製品カテゴリーで製品1トンあたりの直接取水量を2005年と比較して全体で40%削減すること。 ◐ **2015年までに**、水資源と公衆衛生に対する人権への適切な配慮のため詳細なガイドラインを設置し、実施すること。 ◐ **2016年までに**、ウォーター・スチュワードシップの取り組みを定義し、5つの重点地域で実施すること。 ◐ **2016年までに**、優先順位の高い製造施設の100%で節水プロジェクトを実施すること。 ◐ **2016年までに**、選定された製造施設とすべての新規工場地域において、ウォーター・リソース・レビューを新たに45件実施すること。	ネスレのウォーター・スチュワードシップに関するコミットメント。
効果的な水資源利用方針とウォーター・スチュワードシップを推進	⊕ **2016年までに**、2030ウォーターリソースグループ官民パートナーシップ構築に引き続き取り組み、年間2カ国を追加、グッドプラクティス・グローバルカタログ[13]を制作し、公表すること。 ⊕ **2016年までに**、水と公衆衛生に対する人権に関する企業のグッドプラクティスのCEOウォーターマンデートガイドの発行を支援し、特定市場[14]で水資源の適切な配慮について本ガイドを試験的に実施すること。 ⊕ **2016年までに**、持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)を支援し、WASH宣言[15]への加盟企業50社を達成すること。 ⊕ **2016年までに**、アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ(AWS)による国際ウォーター・スチュワードシップ基準の導入プロセスを開始、5カ所以上の拠点で実施[13]すること。 ⊕ **2016年までに**、「持続可能な農業イニシアチブ」プラットフォーム(SAI)および「持続可能なフードラボ(SFL)」と協力し、水のリスク評価と軽減に関する共同イニシアチブを、原料となる農産物の調達地域1カ所以上で実施[16]すること。	ネスレのウォーター・スチュワードシップに関するコミットメント。
適切な排水処理	◐ **2016年までに**、全工場で水質と排水に関して新たに強化された「ネスレ環境要求事項」を履行し、環境保護を支援すること。	ネスレのウォーター・スチュワードシップに関するコミットメント。 ネスレ環境要求事項。
サプライヤー、特に農業関係と協力	◐ **2015年までに**、優先地域におけるコーヒー、砂糖、米や穀物のサプライチェーン上流における節水行動計画を策定し、導入すること。	ネスレのウォーター・スチュワードシップに関するコミットメント。 世界規模の持続可能な農業イニシアチブ。
水資源の保全意識を高め、バリューチェーンを通じた水へのアクセスと公衆衛生を改善	◐ **2015年までに**、ネスレの全従業員が職場で適切な水準の安全な水、公衆衛生と衛生状態が確保できていること。 ◐ **2016年までに**、ネスレの製造施設近隣とファーマーコネクト地域で、地域コミュニティにおける35万人が水と衛生改善プロジェクトの利益を共有できること。	ネスレのウォーター・スチュワードシップに関するコミットメント。 職場で安全な水、公衆衛生と衛生状態を確保するための持続可能な開発のための世界経済人会議での宣言(WASH宣言)。

目標達成度：● 達成済　◐ 達成見込み　○ 開始済　⊕ 新たな目標

環境サステナビリティ

コミットメント	目標	対策
事業における 資源の利用効率を改善	● **2015年までに**、ネスレ工場の10%で廃棄物量ゼロを達成すること。 ● **2015年までに**、各製品カテゴリーで製品1トンあたりのエネルギー消費量を2005年と比較して25%削減すること。	ネスレの環境サステナビリティに関する方針。 ネスレ環境マネジメントシステム。 ネスレの食品廃棄物に関する方針。
ネスレ製品パッケージの 環境パフォーマンスを改善	⊕ **2017年までに**、少なくとも100,000トンの包装資材を使用しないよう、パッケージポートフォリオの体系的な分析、最適化を継続すること。	ネスレの環境サステナビリティに関する方針。 ネスレ環境マネジメントシステム。 持続可能な製品開発導入のためのエコデザイン(エコデックス)。
製品が環境に与える 影響の評価と最適化	● **2014年までに**、エコデックスのエコデザインツールを全研究開発拠点に適用すること[17]。 ◐ **2017年までに**、エコデックスで使用される農産物に関するデータベースの範囲をさらに拡大すること。 ◐ **2017年までに**、15製品カテゴリーにおけるサステナビリティ重点課題を特定または更新し、対応すること。	ネスレの環境サステナビリティに関する方針。 設計プログラムによるサステナビリティ。 設計ネットワークによるサステナビリティ。 バリューチェーン全体を網羅するエコデザインツール、エコデックス。 ライフサイクルアセスメント(LCA)。 ネスレのサステナビリティカテゴリープロファイル。
気候変動への リーダーシップを提供	● **2014年までに**、業務用冷却システムにおいて、オゾン層を破壊せず、気候変動にほとんど影響を与えない自然冷媒の使用を拡大すること。 ◐ **2015年までに**、すべてのネスレの新しいアイスクリーム用大型冷凍庫で、自然冷媒を使用すること。 ● **2015年までに**、温室効果ガス(GHG)排出量削減に貢献するため、製品1トンあたりの直接GHG排出量を2005年と比較して35%削減し、GHG排出量の絶対量を削減すること。	ネスレの環境サステナビリティに関する方針。 ネスレの気候変動に関するコミットメント。
森を含む自然資本を保全	◐ **2015年までに**、原材料の12の主要カテゴリーの30%が、「責任ある調達ガイドライン」の要件に対して評価され、適合していること。あるいは、自然資本の保全に対する改善計画が実施されていること。 ◐ **2015年までに**、ネスレが周辺地域に与える影響を改善するため、水資源の重要地域[18]近隣の全工場で、改善プログラムを導入すること。	ネスレの環境サステナビリティに関する方針。 ネスレの「責任ある調達ガイドライン」。 ネスレの農業由来原料の責任ある使用に関する方針。 設計プログラムによるサステナビリティ。 設計ネットワークによるサステナビリティ。 バリューチェーン全体を網羅する新しいエコデザインのツール エコデックス。 ライフサイクルアセスメント(LCA)。
有意義で正確な 環境情報の提供と対話	◐ **2016年までに**、あらゆる国の消費者が、事実に基づく環境情報を入手できるようになり、インフォームドチョイスによって、消費者自身による環境改善を可能にすること。	ネスレの環境サステナビリティに関する方針。 ネスレのブランドと共通価値の創造コミュニケーション基準。

人材、人権とコンプライアンス

コミットメント	目標	対策
事業運営と サプライチェーンにおける 人権への影響の評価と対応	◐ **2015年までに**、FTSE4Good[19]企業として重視するすべての国を網羅し、業務での人権尊重に関するリスクを減らすため社員を研修すること。 ● **2015年までに**、ネスレの「責任ある調達ガイドライン」で指定する全12原料カテゴリーで人権を尊重すること。	ネスレの経営に関する諸原則。 ネスレサプライヤー規約。 ネスレの責任ある調達ガイドライン。 人権デューデリジェンスプログラム。 国連グローバル・コンパクトの原則。 デンマーク人権研究所(DIHR)との提携。
重点原料における 児童労働を根絶	◐ **2015年までに**、カカオ、ヘーゼルナッツ、バニラのサプライチェーンにおける児童労働を減らすための行動計画を終了して児童労働に関する6万人の農業従事者の研修を終え、60の学校を建築または修繕し、児童労働モニタリングと改善要請の仕組みを80%の協同組合で導入(2016年までに100%)すること。	ネスレの責任ある調達プログラム。 ネスレのマダガスカル産バニラの責任ある調達に関する進捗報告書。 ネスレのトルコ産ヘーゼルナッツの責任ある調達に関する進捗報告書。 ネスレのコートジボワール産カカオの責任ある調達に関する行動計画。 公正労働協会の会員であること。
全社員とステークホルダーが コンプライアンス違反の疑いを 容易に報告できる体制を構築	⊕ **2015年までに**、各国のネスレが100%「ネスレ完全性報告システム」(内部苦情処理の仕組み)または同等のシステムを運営し、企業が懸念や苦情に対処する過程に関する情報を社員に公開すること。 ⊕ **2015年までに**、外部苦情処理システムである'Tell us'に関するコミュニケーションを、ネスレが特定した第1段階の国々だけでなくネスレ ニュートリションの5,000のサプライヤーと1,000のビジネスパートナー(販売業者など)にも拡大し、すべてのステークホルダーによる不順守の報告を促進すること。 ⊕ **2016年までに**、秘密厳守の報告ラインの存在に対する認識を組織全体で強化すること。 ⊕ **2016年までに**、'Tell us'に関するコミュニケーションをサプライヤーやビジネスパートナーにも継続的に拡大すること。	ネスレサプライヤー規約。 ネスレ考働規範。 腐敗防止方針。 ネスレの経営に関する諸原則。
腐敗と賄賂に対抗する取り組み	⊕ **2015年までに**、腐敗防止プログラムを強化し、すべての市場と事業へ伝えること。社員自らに求められている役割を理解するため新たなコンプライアンスに関するeラーニングを開始すること。 ⊕ **2016年までに**、さらなる強化が必要な市場と事業で、現地腐敗防止方針の実施手順を採用すること。 ⊕ **2017年までに**、コンピューターにアクセスできる全社員がコンプライアンスに関するeラーニングを完了すること。	ネスレの経営に関する諸原則。 ネスレ考働規範。
ネスレの全部門で、 全社員の基本的安全性と 健康を確保する仕組みを整備	◐ **2016年までに**、しっかりとした安全性と健康管理システムを整備し、全社員が全事業で同じレベルの安全性と保護を確保できていること。	既存のマネジメントシステムの範囲を拡大し、製造、サプライチェーン、研究開発、事務所と営業担当者を含む全社員を確実に対象とします。 OHSAS18001の実施確認とシステム認証のため、第三者監査を使用します。

目標達成度：● 達成済　◐ 達成見込み　○ 開始済　⊕ 新たな目標

人材、人権とコンプライアンス

コミットメント	目標	対策
社員の男女比のバランスを向上	◐ **2018年までに**、女性管理職と幹部（各国の管理職と本社における重要な役職）の割合を毎年高められるよう、ネスレの職場環境でそれを可能とする状況を創造し、男女比のバランスが取れた企業であること。	ネスレのマネジメントとリーダーシップの基本原則とネスレの経営に関する諸原則。
ヨーロッパのネスレで30歳未満の若年層2万人に雇用機会を提供	◐ **2016年までに**、ヨーロッパで1万人の若年層と1万人の30歳未満の研修者もしくは実習生を雇用し、この年齢層の失業状態に取り組むこと。	直接採用を促進します。 全ヨーロッパ市場で研修生と実習生制度を強化します。 Nestlé needs YOUthプログラム。 Alliance for YOUth。
共通価値の創造（CSV）、栄養（NQ）、環境サステナビリティに関する研修を社員に実施	● **2014年までに**、スイスにあるネスレの国際研修センターの全コース（年間で現役と将来のリーダー候補約3,000名が受講）、全社員が受講できるようにデザインしたeラーニング、そして試験段階の新しいリーダーシップコースに共通価値の創造を完全に組み入れること。 ◐ **2015年までに**、栄養指数（NQ）のトレーニング[20]に関する全社的な目標として、2015年末までにネスレの全社員がeラーニングのモジュールを含め、NQ基礎モジュールを少なくとも一回受講すること。 ◐ **2016年までに**、社員のための環境意識に関する講習を通して、私たちのコミットメントを達成する能力を強化すること。2016年までに、環境意識に関する研修をすべての国で実施すること。	グローバルな研修と人材開発プログラムに不可欠な共通価値の創造。 NQ（栄養指数）のトレーニングプログラム[20]、栄養・健康・ウエルネス ロードマップ、ユナイテッド・フォー・ヘルシアー・キッズ。 ネスレの持続可能な環境方針。

1 対象国の一つがフランスからロシアに変更されました。
2 顧客の50%以上が12歳未満か、この年齢層を対象にしていると捉えられる製品。
3 「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機構（WHO）、アメリカ医学研究所、その他の世界的もしくは特定の国の公的機関が発行する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいています。ネスレ製品は、ネスレ栄養プロファイリングシステムを使用して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性を調べ、上記の基準に照らして評価します。
4 対象となる製品とは、適用除外品（ネスレ　ニュートリション、ネスレ　ヘルスサイエンス、ネスレ　プロフェショナル、ネスレ　ピュリナ　ペットケア、（ミルクや砂糖などを加えていない）コーヒー、紅茶、水、ギフト用菓子、料理用調味料と卓上調味料、4歳未満の子ども向け製品など、その他の法的規制の対象となり規制で認められないもの）を除きます。
5 顧客の50%以上が18歳未満であり、かつその内訳として10代が子どもよりも多い製品。
6 このコミットメントはネスレ製品に含まれる部分水素添加油由来のトランス脂肪について述べています。
7 人（ペット以外）が日常的に多量摂取するカロリーのある製品で、パッケージにGDA表示が可能なスペースがあるもの。
8 これらの農業・地域開発に関するすべての活動を統括するために、「農業・地域開発に関する方針」に基づいた枠組みが作られており、これは連携、協力、擁護の精神で支えられる3つの柱「農家の成功」、「農場労働者の生産性と尊厳」、「コミュニティの繁栄」で構成されています。
9 農家から直接調達するプログラムにより、私たちは原料の現地調達を行いつつ、厳格な調達基準を満たすために技術的支援を提供し、協力体制を整えています。
10 コーヒーコミュニティの共通規約（4C）アソシエーションはさまざまなステークホルダーによって構成されており、会員はコーヒーのサプライチェーンに関与する生産者、市民団体や企業など、コーヒー産業に携わる人々です。
11 数字は2010～2020年までの累積です。
12 持続可能な農業における主要な環境保全団体による国際的な協会で、環境保護、社会的責任、経済的活力に関する基準があります。
13 これはネスレの2014年の目標を継続したものです。
14 ガイドラインに貢献するという2014年の目標は達成されました。
15 ISO 14046:ウォーター・フットプリント、原則、条件、ガイドラインに貢献するという2014年の目標は達成されました。
16 特定の重点施設でAWS基準の原則をセルフアセスメントの目安として使用するという2014年の目標は達成されました。
17 拠点は研究開発センターと製品テクノロジーセンターから構成されています。
18 法的に保護されているか、保全契約が結ばれており、損なわれたり、失われたりした場合に、環境的、社会的、文化的、経済的な利益に大幅もしくは過度に悪影響を及ぼすと思われる集水地域。
19 FTSE4Goodは、ロンドン証券取引所の株式市場における倫理的投資の指標です。世界的に認められた企業責任の基準を満たす企業について、そのパフォーマンスを客観的に測定するものです。
20 ネスレのNQトレーニングプログラムは、ネスレ社員が公私両方で、最新の科学的証拠に基づく栄養選択ができるようにするものです。

グローバルパートについて

© March 2015, Nestlé S.A., Public Affairs
Nestlé S.A.
Avenue Nestlé 55
CH-1800 Vevey
Switzerland
www.nestle.com/csv

解釈に疑問または相違が生じた場合、英語版が優先します。
イタリック体で表記されたブランドはネスレグループの登録商標です。

写真
Nana Kofi Acquah, Markus Bühler-Rasom, Frederic Courbet/Panos Pictures, Kieran Dodds/Panos Pictures, Sam Faulkner/NB Pictures, Shiho Fukada/Panos Pictures, Nicolas Genta, Piotr Malecki/Panos Pictures, Eduardo Martino/Panos Pictures, Qilai Shen/Panos Pictures, Kristian Skeie, Alicia Vera, Nestlé S.A.

制作/ネスレ日本株式会社　マーケティング & コミュニケーションズ本部
http://www.nestle.co.jp
http://www.facebook.com/Nestle.Japan
2015年7月